

新しい夜明け 8

「多彩な能力を持つ創造主」の復讐



生まれ変わる宇宙と未来 目次

- 第1章 多彩な能力を持つ創造主と地球の行方
- 第2章 「多彩な能力を持つ創造主」の分身達
- 第3章 分断された創造主の絆
- 第4章 支配されていた創造主
- 第5章 「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子
- 第6章 新たに生み出された闇の創造主
- 第7章 「紫ピラミッド」の女王の復讐
- 第8章 「多彩な能力を持つ創造主」の復活
- 第9章 新しき愛の創造主達

作者 瀬戸武志 & 宇宙の光

宇宙の光公式 HP <http://hikari1.com/>

アセンション評議会 HP <http://s-sun1.com>

アメブロ 光の世界へ

<http://ameblo.jp/e-stone1/>

Eメール TAKESHI yume34@k-suai.com

イラスト

えんじえる (佐藤弘之)

アメブロ <http://ameblo.jp/angel-art2010/>

第1章 多彩な能力を持つ創造主と地球の行方

PART1 結貴ちゃんの誕生

私達の次女である結貴（ゆき）ちゃんが、2018年10月2日の16時に誕生いたしました。

陣痛が始まってから5時間の超スピード出産でした。

「6大天使による光のピラミッド」のセッションを9月末まで行い、その終了直後に生まれてきた結貴（ゆき）ちゃん、さすがに責任感が半端ではありません。

結貴（ゆき）ちゃんは、実はお腹の中にいる時から、この地球とアセンションのために大活躍してくれていました。

生まれてきた結貴（ゆき）ちゃんは「守護の創造主」の系列にあるスピリットを持っていますので、お母さんの体に宿った時から、スピリチュアルレベルで、地球の人々を守護するために活躍していました。

そして結貴（ゆき）ちゃんは、シェンロンとしても大きな力を持っていますので、日本を台風や地震などの自然災害から守る働きもしていたようです。

前回は、様々な問題があり帝王切開で美輝ちゃんは生まれたのですが、今回は始めから通常の出産を行いたいとの思いがあり、VBAC（帝王切開→経膈分娩のことをVBACといいます。）に挑戦することにしたのです。

それには、とても大切な理由があります。

私達は、4人の子供を作る予定にしているのですが、帝王切開では3人が限度とされているからです。

私達と創造主達の計画では、どうしても4人の子供達が必要なので、大きなリスクがある事を承知の上で、VBACに挑むことにしたのです。

幸い私達が住む家からさほど遠くない場所に、VBACに関しては日本でも有数の実績を持つ伊集院産婦人科病院があり、その病院の先生達と協力しながら妊娠を見守る事にしました。

妊娠の中期より「6大天使の光のピラミッド」が始まり、恵理さんの妊娠をよく思わない存在達から大変なサイキックアタックを受け、恵理さんは毎日体に痛みやしびれが走ったり、お腹が張って苦しい状況におかれながらも耐えてここまで来ました。

そして9月末日「6大天使による光のピラミッド」をどうにか終え、私達が光の保護区に入ったところで、陣痛が始まり、すぐに入院しました。

そして、2日の16時に、多くのスターピープルやシェンロン達に守られながら、次女の結貴を出産したのです。

出産は分娩室に入ってから、さほど時間をかけずに2900gの元気な赤ちゃんが生まれました。

本当は10月中旬の予定だったのですが、VBACは子供があまり大きくなりすぎると子宮に負担がかかり破裂する恐れがあるので、早い時期に産もうということでこの時期に生まれたようです。

結貴（ゆき）ちゃんもそのことが分かっていたようで、ベストなタイミングで生まれてきてくれました。

以前からお腹が理由もなく張ったり、体の異常が出ていたので、先生達もかなり心配してくれていたのですが、VBACが無事成功した事に、先生達も大変な喜びを持ってくださいました。

地球も大きな節目を迎えた今日から、美輝ちゃんと結貴(ゆき)ちゃんのパワフル姉妹の活躍が始まります。

PART2 突然の闇に落とされた私達

10月2日に私達の次女である結貴が生まれてから、また状況が少しおかしくなりました。

本来ならば私達は10月から光の保護区のクリアリングルームに入り、私達にまとわりつく様々なエネルギーや他の人の感情などを払い落として、光の多い世界へと入る予定でした。

そして、私達の活動も、これからは光の多い世界に行く方を対象にアチューメントやセッションを行っていく予定です。

しかしながら結貴が生まれてから、2日後に長女である美輝の体調がととも悪くなりました。

それまでは10月から幼稚園に行き、幼稚園の友達と一緒に過ごしていたのですが、熱が出たりお腹をこわしたりして幼稚園に行くことができなくなりました。

恵理さんは産後ケアの施設に入り体を休めていますので、私と美輝は2人で、自宅で暮らすことになりました。

そして子供の風邪が移ったのか、私も体調が悪くなりました。

しかしながら、それは単に私達が風邪をひいたという事ではなく、第21評議会に潜んでいた偽りの創造主による攻撃を受けて、私達のみならず光の保護区のクリアリングルームにいる人達が闇のエネルギーに惑わされて体調悪くしているようでした。

私達は光の保護区のクリアリングルームで、今までのネガティブなエネルギーや感情を払い落とす予定だったのですが、闇の創造主が、光40%前半のエネルギーをクリアリングルームに流し込んだために、私達は心や体のクリアリングをすることができずにいました。

しかしながら、第21評議会の偽の創造主は光に返され、その後始末も進んでいるようですので、すぐに状況はよくなると思っていました。

そしてある時の事、私達は急に大きなサイキックアタックとともに40%台前半の世界へと落とし込まれてしまいました。

それまでも度々夢の中で光40%台前半の光景を見ていたのですが、第21評議会にいた偽物の創造主を処理してからは、そのような夢も見ることがなくまた平穏なクリアリングルームに戻ったのかと思われていたのです。

その時、私達家族は殺伐とした薄気味の悪い世界に急に落とされ閉じ込められたようです。

私達は一体何が起きたのか、理解ができませんでした。

創造主やスターピープル達を呼び出しても答えはありません。

おそらく彼らも私達の姿が急に見えなくなったので、私達を探している事でしょう。

私達が光 40%台前半の世界に閉じ込められた時に、私達を嘲笑うような声が聞こえました。

「この地球に創造主のスピリットを持って生まれた者達にしては力がないものだ。

このくらいの事を跳ね除けるだけの力がなければ、創造主として地上に生きて行く事はできないのだぞ。」
というようなとても冷たい後味の悪い声が響いてきたのです。

私達は光 40%台にいるスターピープルやこの世界の創造主に助けを求め祈りました。

そして、その時かつて私達が、「紫ピラミッド」から助けだしたスターピープル達が、私達を取り囲んでい
る壁を取り払い、私達を助けに来てくれたのです。

そのグループはシリウス大戦争の時に地球に逃れてきたスターピープルの種族でした。

彼らはどのような世界にもゲートを作り入れるという特殊な能力を持っていたのです。

そのために私達がいなくなったことを心配して探しに来てくれたようです。

私達はこの種族によって無事光 40%台前半の世界を抜け出すことができました。

そしてすぐにスターピープルや創造主達を集めて一体何が起きたのか、誰がこのようなことを企てたのか、
調べることにしました。

フレッド達がいるには、光の保護区のクリアリングルームも、今大きな闇のエネルギーに襲われて正常に機能
していないということでした。

大天使や不動明王達も、自分達の力が創造主によって制限されたために、私達を守る事ができなかったとい
ってきました。

またアシュタールのエレナさん達は、スターピープル達もすべて動きが封じられて、地球の分離作業が一時
止まってしまい、地球の物理世界のエネルギーが混沌としたものになったという事を報告してきました。
つまり私達のアセンションは妨害されて後戻りしてしまったのです。

私はホーリーやクリスタルピープルに私達の中にあるエネルギーを調べてもらいました。

そして私達のエネルギーを通じて今回このようなことを計画した創造主を探すことにしました。

ホーリーはこのように言いました。

「TAKESHI さんや恵理さんの体の中に黒い闇の渦巻きが出来上がっています。

この黒い闇の渦巻きを通して、皆さんは光 40%台前半の世界と関わり、そしてその世界に連れ去られてい
たのだと思われます。」

私は創造主に頼んで、この黒い闇の渦巻きのエネルギーを私達から分離してくれるようお願いしました。
しかし、物理世界に近いところにいる創造主ではうまくいかないようです。

この渦巻きは、相当高いレベルの創造主が行ったようです。

通常の創造主では分離することができず、第 24 評議会の創造主によって初めてこの闇の渦巻きは分離され
ました。

ということは今回のことを計画した創造主は第 24 評議会に近いレベルの力を持っている創造主だとい
うことになります。

私達はすぐに、どの創造主がこのようなことをしたのかと高次の創造主達を調べてもらうことにしましたが、
今私達の宇宙にいる光の創造主ではこのような事をするものはもうすでにいなくなっていました。

私に繋がっていた闇の渦巻きのエネルギーを遡って、誰がこのエネルギーを繋げてきたのかを調べてもらいました。

そうすると一人のとてもパワフルな力を持った創造主へとそのエネルギーは繋がれていたのです。

私はこの創造主が見つかるとうちに第 24 評議会の創造主に言いました。

「この創造主はわたしたちの宇宙の創造主ではないのに、勝手に私達の宇宙やアセンションに関わって妨害をしています。

第 24 評議会の「全ての公正さを司る創造主」よ、すぐにこの創造主を光に返すか私達の宇宙から分離してください。」

私がおのうように言うとう、私達の前に姿を現した創造主は嘲り笑うようにいいました。

「私の力にかなう創造主等いるはずもない。

お前たちの宇宙の創造主は、みんな弱気で未熟者ばかりだからな。

私もの前では、何もできない者達ばかりだ。」

余りにも第 24 評議会の創造主を馬鹿にした言葉に、私も怒りを覚えます。

「何を言っているのですか、私達の宇宙の創造主を馬鹿にするような者は、光に返されることになりますよ。

さあ、第 24 評議会の創造主よ、お願いします。」

すると第 24 回評議会の創造主はとても弱気な事を言いました。

「いえ、TAKESHI さん、私の力ではこの創造主を分離することも光に返す事もできません。

彼らは私達よりも力のある創造主です。

私達は彼が言うようにまだまだ未熟で力も弱く十分に成長していない創造主なのです。」

私はこの 24 評議会の創造主の言葉に驚きました。

「創造主よ、今は、そんなことを言っている状況ではないのです。

私達の宇宙にいない創造主が私達の宇宙を荒らしまわっているのですよ。

そのことにしっかりと対処できなくてどうするのですか。

この創造主の言うとうりに皆様は本当に力の弱い情けない創造主なのですか。」

第 24 評議会の創造主は黙っています。

PART3 「多彩な能力を持つ創造主」の復讐

私達がおのうような会話をしているとすぐに第 25 評議会の創造主が私達の前に現れました。

「TAKESHI さん、この創造主は私達が処理しますので、どうかここからすぐに立ち去ってください。」

第 25 評議会の創造主が慌てたような表情でおのうように言いましたので、私達はすぐに撤退しました。

そして、しばらくしてから第 25 評議会の創造主が私達のもとに報告に来ました。

「TAKESHI さん本当に申し訳ありませんでした。

おのうようなことが起きたのも私の責任です。

この創造主が、皆さんの宇宙で何を起こしたのか、あるいはどのような問題が起こっているのかを調査しております。

事態の收拾はもうすぐつきますのでそれまでお待ちください。」

私は第 25 評議会の創造主に尋ねました。

「この創造主はどのような創造主ですか。

今まで私達が見た創造主とは異なるようですが、」

「TAKESHI さん、実はこの創造主は、私達の評議会から追放された創造主です。

この創造主は非常に優秀で様々な能力を持ち、何人もの創造主の働きを一人で行うことができる創造主です。かつて私達がそのような創造主を作り出したのです。

しかしながらこの創造主は、全ての事を自分 1 人でやろうとするために、他の創造主達の成長を邪魔してしまいました。

そして宇宙の創造に関しても 1 人で暴走してしまい、他の創造主と協調関係を取らないので、他の創造主から大きな不満が出てしまったのです。

彼は確かに素晴らしい能力や叡智そしてパワーを全て持ち合わせています。

しかしながら私達の宇宙は創造主達の協力関係で出来上がっていますので、この創造主の存在は私達の宇宙にとってはとても厄介なものとなってしまいました。

そのために他の創造主が誰もいない世界へと彼は送られ、そこで自由に宇宙の創造を行う予定だったのですが、どうしたことか皆さんの宇宙に舞い戻ってしまったのです。」

「そうだったのですか、よく分かりました。

彼は私に対してとても力がないやつだ、創造主としての実力や能力がない者だ、という風に言いましたが、よくそのようなことを彼は言っていたのですか。」

「実はそうなのです。

自分が一番力を持っている創造主であるという事を彼は得意げにいつも話をしていました。

そしていろんな事が自分一人でできるために、他の創造主を嘲笑いそして貶めていたのです。

私達にとってはそのような態度が最も問題だったのです。

そのために彼は私達の宇宙から追放されたのです。」

「その彼が戻ってきたというのは、どのような理由があつてのことですか。」と私は尋ねました。

「おそらく、彼は私達に復讐をしたいのだと思います。

自分が誰もいない世界に追放されてしまった事に対して怒りや憎しみを持っています。

そしてそれを TAKESHI さんや地球の人達へとぶつけてしまったのです。

彼はこの地球のアセンションに対してもあまりよく思っていないでした。

このようなやり方ではなく、もっと自分なら上手にできると私達に言ってきたのです。

しかし彼のやり方というのは非常に独断的で不要なものを全て簡単に切り捨ててしまうやり方ですので、そのやり方ではこの地球のアセンションはうまくいかないのです。

では私達はここで失礼します。

まだこれからやらなければならないことがたくさんありますので終わったらまた報告いたします。」

そう言って第 25 評議会の創造主は私達の元を離れていきました。

私達はこの「多彩な能力を持つ創造主」の攻撃によって体調が悪くなっていました。

たとえ第 25 評議会の創造主がこの創造主を捕えたとしても、この創造主が行ったサイキックアタックは私達の現実世界をととても重苦しいものにしていたのです。

私や美輝の体調はどんどん悪化していくばかりです。

そして 2 日ほど経った頃、第 25 評議会の創造主が行っている処理もだいぶ終わったようです。

今まで体調が悪くて食事をろくに取れなかった美輝が、ようやくご飯を食べるようになりました。

この間も第 25 評議会の創造主は、地球で暮らしている私達の体や意識を使って、ずっとこの「多彩な能力を持つ創造主」が行った事を調べていたようです。

そして 10 月 15 日の夜になると、私は急に眠くなって夜 9 時ぐらいからバターンと寝てしまいました。

そして 6 時間ぐらいして目を覚ました時に、私の心の中に第 25 評議会の創造主の言葉が響いてきました。

「TAKLESHI さんようやくわかりました。

あの「多彩な能力を持つ創造主」は皆さんの光の度合いを変更してしまったのです。」

私は「それはどういうことですか？」と聞きました。

「皆さんのように創造主やスターピープルのスピリットを持つ人達が、地球上に生まれ活動する時は、この地球上で活躍できるように、皆さんのスピリットの光の度合いが調整されます。

つまり皆さんが活躍しようとする世界の光の度合いよりも、スターピープルであれば約 10%程度、創造主であれば 15%から 20%程度、大きな光を持って生まれる事になります。

この光の度合いが、皆さんが生きる世界と同じ分量の光だと、皆さんは創造主やスターピープルとして活躍する事もできませんし、その能力も発揮できず人の注目を集める事ありません。

しかしながら、その世界よりも 10%か 20%も大きな光を持つ事によって、スターピープルや創造主としての働きをこの地上で行う事ができるのです。

また多くの人達が皆さんに注目する事ができます。

あなたの場合は光 50%台の世界で活躍することが目的とされていますので、光の配分は光 60%から 70%となります。

そして闇が 30%から 40%です。

それが、光と闇の配分が逆にされて、皆さんが落とされた光 40%台の光の配分と同じにされていたのです。

皆さんは、光が 40%しかなければ、十分な働きをする事もできず、またスピリットとのアンバランスが起こってしまいます。

その為に、体調を壊したり不要な感情が浮かび上がってきて、自分の体を傷つけるような事が今まで起きていたのです。」

私は、第 25 評議会の創造主の言葉を聞いて、今私達に起こっている事柄が、一つにつながっていくような気がしました。

第 25 評議会の創造主は、さらに続けて話します。

「そしてこれは皆さんだけでなく、彼は過去にさかのぼって、地球に降りてきた創造主のスピリットを持つ者達や偉大なるスターピープルのスピリット持つ者達の光の配分も変えてしまいました。

そのためにイエスキリストのように十分な働きをする前に殺されてしまう者もいました。

あるいは少数民族のシャーマン達のように、その力を奪われ十分な仕事ができなくなるというような事が起きていたのです。

そのために、皆さんも、この創造主によって変えられてしまった光の配分に見合った世界へと閉じ込められてしまったわけです。

しかしながらその光の配分をまた元に戻してありますので、この一週間ぐらいであなた方は元の状態に戻る事ができると思います。」

そのように言うと第 25 評議会の創造主は消えていきました。

それからしばらくは、私の体を使って「多彩な能力を持つ創造主」が、この地球や私達の宇宙で起こした事をいろいろ調べているようです。

その間は、私の体はだるくてぼっーとするような事が続きます。

しばらくして、第 25 評議会の創造主が、私達の元にやってきました。

「TAKESHI さん、やはり私が考えていたように「宇宙に闇をもたらす創造主」や「全ての闇を生み出す創造主」も「多彩な能力を持つ創造主」によってコントロールされていたようです。

彼は、自分自身が、皆さんの宇宙や私が作った多くの宇宙の中でも、一番優秀な創造主であるという事を証明したかったようです。

そのために「闇の働きをする創造主」達に力を与え、その判断力を狂わせてしまい、光の創造主を弾圧するように仕向けてしまったのです。

「すべての闇を生み出す創造主」も、彼の犠牲者と言っても良いかもしれません。

本来彼は、あのような考え方をする創造主ではなかったのですが、この「多彩な能力を持つ創造主」に影響されて、とても傲慢になってしまい、そして自分自身がこの宇宙を支配できるのだという風に思わされてしまったのです。

そのために「すべての闇を生み出す創造主」が生み出した「闇の働きをする創造主」達は、自分自身が宇宙を支配できる、という考えにとりつかれて光の創造主と対立するようになってしまいました。

私達がそれをしっかりと抑えきれなかった事も事実です。

「多彩な能力を持つ創造主」はそのことを嘲笑っていました。

「やはり私がいなければ、あなたがたは何もできない、」ということを私達の宇宙の創造主達に突きつけてきたのです。

しかしながら私達はその言葉に負けることなく戦ってきました。

そして今、彼を私の元に返しました。

彼は光となってこの宇宙から消えていきました。

私達は今、彼が行ってきた事を全て調べ、もとに戻す予定にしています。

そしてこの地球が本来の素晴らしいアセンションを迎えることができるように私達はサポートすることにいたします。」

と言って第 25 評議会の創造主はその場を去りました。

おそらくこれで、闇の創造主達による妨害は無くなり、地球のアセンションもスムーズに進むことと思われませんが、あまり強い期待を持たないことにしておきましょう。

第2章 「多彩な能力を持つ創造主」の分身達

PART1 「多彩な能力を持つ創造主」の分身たち

「多彩な能力を持つ創造主」が第25評議会の創造主に捕われたので、私達の状況も良くなるかと思いましたが、やはりこの宇宙でナンバー1の実力を持つ「多彩な能力を持つ創造主」は、様々な仕掛けを残していました。

翌日から 私達に対してのサイキックアタックが様々な形で起こるようになりました。

そのエネルギーの出所を調べて創造主やスターピープル達が動き始めると、恵理さんに対して痛みや体の麻痺を起こしたりして、私達の探索ができないように、妨害が常に起こるようになりました。

しかしながら、私達はなんとか一人の創造主を見つけました。

その創造主は「紫ピラミッド」の一番奥深い所に隠れていたのです。

すぐに、第25評議会の創造主がやってきて、この創造主は「多彩な能力を持つ創造主」の分身であるという事が分かりました。

第25協議会の創造主はこのように言いました。

「やはり「多彩な能力を持つ創造主」だけに様々な事を考え、仕掛けを作っています。

私達も「多彩な能力を持つ創造主」を調べていく中で、彼がいく人かの分身を作っていた事が分かりました。そして分身達は、闇の創造主や「紫ピラミッド」のダークピープル達と協力し合って、皆さんのアセンションを妨害していたという事もわかったのです。

おそらくこの「紫ピラミッド」の奥で見つかった「多彩な能力を持つ創造主」の分身は、「紫ピラミッド」に沢山の力を与え 様々な能力を持つダークピープルを作り上げていたのだと思われます。」

私は第25協議会の創造主に尋ねました。

「創造主よ、あなたは「多彩な能力を持つ創造主」の分身がどれくらい作られたのかわかりますか。」

「おそらく5人はいるでしょう。

このピラミッドの奥に見つかった創造主は1人目ですから、あと残り4人はいるかと思われます。」

私達もスターピープル達も大きくため息をつきました。

このような創造主が5人もいたのでは、アセンションの仕事がはかどらないのも当たり前です。

私達は、残り4人の創造主の分身を第25協議会の創造主と共に見つけ出すことにしました。

私はピカフラッシュを呼び出して、全てのピカフラッシュにこの「多彩な能力を持つ創造主」の分身の探索をすることを命じました。

ピカフラッシュ達が各評議会から集まってきて「多彩な能力を持つ創造主」の分身のエネルギーを分析しそして探索に走り出しました。

しかしながらピカフラッシュの動きは混乱させられ、ピカフラッシュが思うように創造主を探ることができなくなりました。

おそらく「多彩な能力を持つ創造主」の分身によって、ピカフラッシュの能力は狂わされたのだと思います。

第 25 評議会の創造主が、その様子を見て言いました。

「「多彩な能力を持つ創造主」は、皆さんの宇宙のスターピープルや創造主の働きも熟知していますので、この宇宙のスターピープル達では探索は難しいかと思えます。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル達や高次元のスターピープル達にお願いして探してもらいましょう。」

「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が、私達の手助けをするためにたくさん来てくれました。

「愛で統一された宇宙」のスターピープルの皆さん、私達の手助けに来てくださりありがとうございます。それでは「多彩な能力を持つ創造主」の分身を探しましょう。

おそらくこれまでさまざまな問題が起きた場所に、分身達も隠れている可能性がありますので、まず黄泉の世界で、分身を探すことにしましょう。」

私達がそう言うと「愛で統一された宇宙」のスターピープルや高次元のスターピープル達が黄泉の世界にずっと入っていき「多彩な能力を持つ創造主」のエネルギーを探し始めます。

そうすると黄泉の世界の一番奥深いところに分身の一人が隠れていました。

黄泉の世界は、非常に闇が深く、肉体を失った人間達が、生きていた時の感情を捨て去ることができずに、うごめいている場所です。

この黄泉の世界からは、常にゲートが開かれ、私達に対して黄泉の世界の闇のエネルギーが流されて、私達をいつも困らせていたのです。

それもこの「多彩な能力を持つ創造主」の分身が、様々な存在を利用して行っていたようです。

次に私達を困らせている場所は、人間の集合意識の場所です。

地球に生きる人間は、常に感情エネルギーを噴出させていますので、いくら処理しても処理してもその感情のエネルギーをきれいにする事が出来ないのです。

そしてその感情は、地球のコアにも影響を与え、地震や火山噴火を引き越す原因にもなります。

また時として、潜在意識が持つ怒りや憎しみの感情が私達に向けられ、私達の活動の大きな妨げにもなっています。

アセンションを進めるスターピープルや私達にとっても、ここが一番問題の多い場所なのです。

「愛で統一された宇宙」のスターピープル達が人間の集合意識の中に入りました。

そして人間の様々なエネルギーをかき分けながら探していくと、やはりここにも「多彩な能力を持つ創造主」の分身が隠れていました。

この場所から地球人の集合意識を操って、地球人が意識を成長させないように物理的な欲望を掻き立てていたようです。

また愛を深く持たないように怒りや憎しみや苦しみの感情をここで作り出していたのでしょ。

この分身も捉え、第 25 評議会の創造主に引きわたしました。

これで 3 人目の分身を捕まえた事になります。

あと 2 人の分身はどこに隠れているのだろうと考えていると、私は、はっと思いました。

そうだ地球のコアにいるのではないか、地球のコアはいつもブラックドラゴン達に襲われています。

そしてブラックドラゴン達が数限りなく生み出されてきたのは、おそらくこの地球のコアではないかと思えます。

スターピープル達と私達は、地球のコアに入りました。

地球のコアは、本来は、地球に生きる多くの生命を支える美しいクリスタルがある場所です。

私達の仲間のドラゴン達が、地球のコアを守っているはずですが、今はブラックドラゴン達の巣窟のような場所になっていました。

本来であれば、地球を支える光のエネルギーが満ち溢れていなければならないのに、今はブラックドラゴンたちの闇のエネルギーで覆われています。

そしてこのブラックドラゴン達の奥にひととき大きなブラックドラゴンがいました。

スターピープル達が光を当てると、それは「多彩な能力を持つ創造主」の分身である事がすぐにわかりました。

第25評議会の創造主もすぐにやって来てくれて、このブラックドラゴンを光に返しました。

するとコアにうごめいていた多くのブラックドラゴン達も一緒に光になって消えていきました。

やはり地球のコアを狂わせ、地震や火山噴火を起こさせていたのは、「多彩な能力を持つ創造主」の分身だったのです。

PART3 創造主を操っていた分身とパラレルワールド

残りは1体の分身となりました。

その分身がどこに隠れているのか、私達もみんなで考えていました。

そうしたら1人のスターピープルが、「もしかしたら創造主達の評議会の中にいるのではないか。」と言いました。

考えてみれば、いつも創造主達は、闇の創造主達にコントロールを受けて、予想もしないような事を行います。

中には評議会の決定に逆らって、評議会が認めていない行動をしたり、あるいは私達を守護している大天使や明王の力を制限して、私達に直接サイキックアタックが行われるようにしていた創造主もいます。

私達は多くの創造主と協力して、各評議会をくまなく探しました。

そうすると第1評議会から第4評議会という物理世界にとっても深く関わっている評議会の奥に別の空間が作られ、そこに分身が隠れている事がわかりました。

「多彩な能力を持つ創造主」の分身はこの場所から、第1評議会から第4評議会の創造主達を操って、アセンションの活動を妨害していたのです。

特に彼らは「闇の働きをする創造主達」をコントロールして常にアセンションの妨害を行っていました。

そして時には、私の系列や恵理さんの系列の創造主もコントロールして、私達が行っている活動をとても危険なものにしていた事もありました。

私達が、創造主の提案により「6大天使の光のピラミッド」を行っている時もそうでした。

このアチューメントは、スピリットが光の世界に行く事を決めている人達のために行うアチューメントだったのですが、そのような人達よりも、とても深い闇を持っている人達や「紫ピラミッド」と深くつながっている人達がたくさんアチューメントを受けに来たために、私達はいつも大きなダメージを受け、自分達の体調を崩してしまいました。

そのような事も、この「多彩な能力を持つ創造主」の分身達が、私達の宇宙の創造主や大天使たち利用して行っていたのです。

創造主達の連合体である各評議会の裏に「多彩な能力を持つ創造主」の分身が隠れて、光の創造主達にわからないように操っていたのでは、光の創造主もかなうわけがありません。

すぐに第 25 評議会の創造主によってこの分身も捕えられていきました。

これで 5 人の「多彩な能力を持つ創造主」の分身を見つけることができました。

そして第 25 評議会の創造主は、それ以外の場所も探しているようですが、今のところ見つかっていません。その代わり、「多彩な能力を持つ創造主」とこの分身達がひとつになって、私達の宇宙の新しいパラレルワールドを作っていたという事がわかりました。

そのパラレルワールドではアセンションが失敗し、現在の第 24 協議会の創造主が失脚して、そしてその代わりに「多彩な能力を持つ創造主」が創造主達のトップに立っているパラレルワールドです。

それは「多彩な能力を持つ創造主」が、自分自身がやはりこの宇宙の創造主の中では一番偉いのだ、一番能力が高く、そして役に立つのだということを、第 25 評議会の創造主に見せつけるために作られたパラレルワールドです。

もし私達が、この創造主の存在に気付かずに、この創造主やその分身を放置していたならば、今の私達の宇宙はこのアセンションが失敗したパラレルワールドに結びつけられていたことでしょう。

あるいは、私達の宇宙は一瞬のうちに消されてしまい、このパラレルワールドの宇宙だけが残ったかもしれません。

そう考えれば私達はとても危険な状況を迎えていたのだという事がわかりました。

創造主やスターピープル達のおかげで「多彩な能力を持つ創造主」とその分身達は光に返されました。

彼らがやってきた事を考えれば、私達のアセンションを最初から最後まで妨害していた最高の支配者はこの「多彩な能力を持つ創造主」だったという事がわかりました。

第 25 評議会の創造主は、彼らが行った事を全て調べて処理をして、そこからまた新しいアセンションへの道が始まるのだと言いました。

私達もまた気を取り直してクリアリングルームで光の世界に向かう人達のクリアリングを行ったり、この物理世界の分離をしっかりと行なって、私達にとって本当に素晴らしいアセンションの世界を作り上げていかなければなりません。

しかしながら、私達の行く手を阻むものは、「多彩な能力を持つ創造主」の分身だけではありませんでした。

もっと厄介な存在達も、もうすでに私達の宇宙に入り込んでしまっていたのです。

PART3 「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙からやってきた者達

「多彩な能力を持つ創造主」が作り上げた5人の分身を、私達は無事捕まえる事ができました。

これで「多彩な能力を持つ創造主」が仕掛けた罠が全て終わったのかと思っていたら、決してそうではありませんでした。

その翌日からとても大きなネガティブなエネルギーが、また私達を襲ってきました。

何が起きているのか調べてもらうために大天使ミカエル達を呼び出そうとしたら、大天使ミカエルと光の天使軍団が、たくさんの黒い存在やネガティブなエネルギーをまとった多くのダークピープル達と、一生懸命戦っているのです。

一体何が起きたのかと問いただしたら、私達の家に向かってとても大きなゲートが開き、そこから今まで見た事もないような沢山のダークピープル達や闇の存在達が溢れ出るようにやって来ているという事でした。すぐにスターピープルと創造主達を呼び出して、その存在達は一体何なのか、どこから来ているのか、調べてもらう事にしました。

そして、この存在達をどうにか処理してくれるようお願いしました。

第25評議会の創造主は、その状況を見ると慌てた顔で言いました。

「これは「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙のダークピープル達のようなようです。

彼は、自分が作った宇宙のゲートを皆さんの世界に開いていたという事がはっきりとしました。

今までは5人の分身達によってこのゲートは制御されていたので、ダークピープルや闇の存在たちが少しずつ出てきていたようですが、あの5人の分身がいなくなった事で、このゲートを制御する者がいなくなり、一気にその宇宙からダークピープル達や闇の存在達が流れ込んできたようです。」

これはとんでもないことになった、と私は思いました。

第25評議会の創造主は、状況を調べながら私に言いました。

「今は、大天使達だけでなく、すぐにスターピープルや創造主達も、皆さんの宇宙に入り、ダークピープル達を抑え込むために働いています。」

ダークピープル達は、まだ入ってきたばかりですので、人と一体化していないダークピープル達も多く、そのような者たちはすぐに創造主によって光に返されました。

しかしながら既にこの地球のダークピープルや地球人と一体化している悪賢いダークピープル達も出始めているようです。

そのような者達はすぐに光が返すことができないので、しばらく対策を練るためにこのダークピープル達を調べることになりました。

第3章 分断された創造主の絆

PART1 いなくなった創造主

「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙から流れ込んできた存在達を処理している間に、私達は不思議な事に気づきました。

それは上の評議会の創造主は下の評議会の創造主達の事がよく見えていないということです。通常は、一つ上の評議会の創造主達が、その下の創造主の事を見守っているのです。

私は自分達が物理世界で繋がっている第1評議会の創造主を呼び出しました。

それは「輝きの創造主」や「陰陽を統合する創造主」達なのですが、その創造主達が出てこないのです。私達の物理的な世界をしっかりと守護するはずの創造主が、私達の呼びかけに応えられないっていうのは何か問題が起きている証拠です。

それはその創造主が存在していない、もしくはどこかに捕らわれているという事を意味しているのです。

私は第1評議会のリーダーである「虹彩の創造主」を呼び出しました。

「虹彩の創造主」よ、「輝きの創造主」や「陰陽を統合する創造主」達が、私の呼びかけに答えませんが、彼らは一体どうなっているのですか。

私達と深く繋がっているはずの創造主が現れないというのは何が起きているのですか。」

「虹彩の創造主」も焦っているようです。

「私達も第1評議会の創造主達の中でいなくなっている創造主がいる事に、今気づきました。

私の所からは問題がないように見えていたのですが、この5人の「多彩な能力を持つ創造主」の分身達が捕えられた頃から、どうも第1評議会の創造主達の様子がおかしいということが分かり始めたのです。

そして何人かの創造主がいなくなっている事が判明しました。」

どうやら5人の分身の1人が、創造主達の評議会の後ろに隠れていたのは、このように創造主達の異変を、他の創造主達に気づかせないようにするためだったようです。

そして、私達と関わりのある創造主達をコントロールして、私達の活動を妨害したり、直接創造主達を捕えて私達と創造主のつながりを分断していたという事もわかりました。

私達は、すぐがいなくなっている創造主達を探し出す事にしました。

多くの創造主やスターピープル達が、注意深く様々な世界を探し始めました。

ある者は「紫ピラミッド」の奥に隠されたり、ある者は時と空間の狭間に墮とされたり、あるいは別空間を作ってそこに閉じ込められていた創造主達もいました。

助け出された創造主は、どの創造主達も深く傷つき十分な仕事ができる状態ではありません。

そして調べていくと、第1評議会の多くの創造主達が同じように傷つき、そしてその光も十分ではない状態になっているのです。

私は第2評議会の創造主達を呼び出しました。

あなた方は第1評議会の創造主達がこのような状態になっている事に気づきませんでしたか、通常であればあなた方が第1評議会の創造主達の管理を行う立場にありながら、第1評議会の創造主に何も変化を感じなかったのですか。」

第2評議会の創造主達はこのようにいました

「私達には第1評議会の状態は決して悪いものではないように見えていました。皆さん一生懸命仕事をしている様子でしたので、物理世界の運営を問題なく行っているように見えていたのです。」

「しかしながら、実際はいなくなっている創造主達も多く、ほとんどの創造主が傷つけられ光も十分ではない状態になっているのです。

なぜそのことが見えないのですか。」

第2評議会の創造主達は黙り込んでしまいました。

どうやら第2評議会の創造主達は、第1評議会の創造主達が順当に動いていたように見えていたのです。

私は第1評議会の創造主達に言いました

「皆さんは、自分達の評議会の創造主に問題が起こっているという事が分かっているが、どうして上の創造主に報告を行ったり助けを求めなかったのですか。」

そうすると第1評議会の創造主達はこのようにいました

「私達は上の評議会に報告をしようにも、どういうわけか上の評議会の創造主に繋がりが持たなくて困っていました。」

おそらくこれは「多彩な能力を持つ創造主」の分身によって、下の評議会の創造主の事が正しく見えないようにされていただけでなく、下の評議会の創造主が上の評議会の創造主と連絡を取ることができないようにされていたようです。

そのために第1評議会では何が起きているのか、また私達が住む地球の物理世界で何が起きているのか分からなかったようです。

私は第3評議会、第4評議会の創造主にも聞きました

そうすると彼らも第2評議会の創造主と同じように、自分達には下の評議会の創造主達に問題がないように見えていた、と答えたのです。

私は第21評議会から第24評議会の創造主達も呼び出しました。

「あなた方には下の創造主の様子はどのように見えていましたか。あるいは、私達の物理世界の様子をどのように聞かれていましたか。」

第21評議会の創造主が答えました。

「私達には下の創造主達が順調に仕事しているように見えていました。TAKESHIさんがおっしゃるように、時々下の創造主の事が見えづらい時もありましたので、私達も下の創造主が、見えないような仕組みを作られていた可能性もあると思います。」
上の評議会の創造主達も下の創造主の様子がほとんど見えていなかったようです。

私は各評議会の創造主達とスターピープル達を呼び出しました。

「皆さんの評議会と評議会の間には、下の評議会や創造主の事が見えないような仕組みが出来上がっていたようです。

そしてまたその仕組みのために、下の評議会も上の評議会と連絡が取れないようになっているのです。

これがどのような理由でそうなってしまったのか、徹底して調べたいと思います。

この事を調べることができるスターピープル達はいますか。

ホーリーエレメント族やクリスタルピープル達はどうですか、調べることができますか。」

第2評議会に属するロッド星人が私達の前に来ました。

「TAKESHIさん、今回は本当に厄介な問題が浮かび上がってきました。

私達のようなクリスタル系のスターピープルであれば、各評議会の中に仕組みられた問題を調べることができると思いますので、すぐに各評議会のクリスタル系のスターピープルにお願いして調べる事にしましょう。」

私は各評議会のクリスタル系のスターピープル達にお願いして、各評議会の中に何か特別な仕組みやエネルギーがないか調べてもらうことにしました。

そして創造主にもこのようにいました。

「皆さんの各創造主の系列のラインがとても乱れているようです。

「愛の創造主」や「光と闇を統合する創造主」、「守護の創造主」など、それぞれの働きを持っている創造主達のラインをもう一度しっかりと組み立ててください。

各評議会の創造主は、それぞれの創造主が第1評議会までしっかりとつながり、第23評議会、第24評議会の創造主がこの物理世界の事まで見渡すことができるように、自分達の系列の再構成を行ってください。」

創造主達は頷くとそれぞれ自分の持ち場へと戻ってきました

私は、各評議会の創造主に指示を出し終わると、第25評議会の創造主を呼び出しました。

「あなたはずっと私達の宇宙に異常がないか、念入りに調べていたようですが「多彩な能力を持つ創造主」の宇宙との間にゲートが開いていた事や「多彩な能力を持つ創造主」たちの宇宙からダークピープル達や様々な存在が来ていた事に気づかなかったのですか。」と尋ねました。

第25評議会の創造主も困ったような顔をしています。

「TAKESHIさん、大変申し訳ありませんでした。

私も物理世界に関わりが持てる創造主達を使って、いろんな世界を探索していたのですが、その創造主達の繋がりが崩れていて、下の評議会の創造主が見ている事、調べている事が上の評議会の創造主にまったく伝わっていないという事が今わかりました。

「多彩な能力を持つ創造主」は、この宇宙の事を知り抜いていますので、どこをどのように妨害すれば私達の宇宙が混乱するのかよくわかっていたようです。」

「創造主がいなくなるという事は大変な出来事ですが、それも分からなかったという事ですか。」

「その通りです。

第1評議会のリーダーでさえも、自分達の評議会の創造主がいなくなっている事に気づいていなかったようですので、私はなおさら気づく事ができません。」

「わかりました。

それでは各創造主がしっかりとしたラインを作ることをサポートしてあげてください。」

PART2 評議会を遮っていたスクリーン

私は第1評議会のアセンションの実行部隊のリーダーであるアシュタールのエレナさん呼び出しました。

「エレナさん皆さんの状態はどうか。

皆さんはお互いのことがよく見えていたのですか。」

「いえ、TAKESHIさん、今となって考えれば、私達もお互いの行っている事が十分に見えていなかったようです。

そして、お互いの仕事がうまくできているように私達には見えていましたので、創造主達と同じように私達にもお互いが見えなくなるような仕組みが作られていたのだと思います。

そして今になって調べてみると、私達第一評議会のアセンションの実行部隊の中でもいくつかのスターピープル達がいなくなっている事が分かりました。」

エレナさんはとても残念そうに言いました。

「特にTAKESHIさんや地球の人々を守護するスターピープル達、あるいは地球の人々をアセンションした世界に誘導する役目の者達、クリアリングルームで人々のクリアリングを行うようなとても大切な立場にいるスターピープル達がいなくなっているのです。」

私も、その事を聞かされて大変ショックです。

私達の守護をするスターピープルは、一体どこに行ってしまったのでしょうか、気になります。

「それは大変なことになっていました。

そのために私達の守護や地球人の守護が十分に行われていなかったという事ですか。」

「その通りです。

私達にはしっかりと仕事しているように見えていたのですが、それはまるで映画を見ているかのように私達には見せられていたようです。」

私達がそのような話をしている時にロッド星人やクリスタルピープル達が戻ってきました。

「TAKESHIさん、やはりそうでした。

各評議会と評議会の間には、まるでエレナさんが言うように映画のスクリーンのようなものが張り巡らされていました。

そしてそのスクリーンによって、下の評議会の創造主達が、順当に機能して仕事をしているように見えていたのです。

各評議会の創造主はそのスクリーンを見せられていたために、下の評議会に問題が起きているという事に全く気付かなかったようです。

特に第一評議会には細かくこのスクリーンが張り巡らされ、同じ第1評議会の中でも下部の創造主がやっていることが見えていないという状況にされていました。

私達は創造主の力を借りて、このスクリーンを全て撤去する予定になっています。

しかし、まだどのような仕組みが残っているのか十分にはわかっていません。」

「分かりました。

これは時間がかかる事かもしれませんが、十分に時間を取って丁寧に行ってください。」

私が出たように言うときクリスタル系のスターピープル達はまた元の場所に戻っていききました。
しかしながら「多彩な能力を持つ創造主」が行う事はとても計算されつくしています。
このアセンションを妨害するために必要な事を全て行っていたと言っても過言ではないでしょう。

私は夜になって各評議会の創造主達を呼び出しました。

「皆さんどうですか。

下の評議会の創造主の様子がよく見えるようになりましたか。

また創造主は、上の評議会の創造主と繋がり、自分達の問題や自分達の事を上の創造主に報告する事はできるようになりましたか。」

第1評議会の創造主のリーダーである「虹彩の創造主」が、私の問いに答えました。

「私達も第1評議会の創造主の様子がよく見えるようになりました。

そうすると創造主達の状態が思ったよりも大変な状態になっており、みんながとても苦しんでいる事がわかりました。

今は第2評議会、第3評議会そして第4評議会の創造主の皆さんが私達に光を送り、私達を助けてくださっています。」

「第1評議会でいなくなった創造主達はみなさん戻ってきたのですか。

「はい第2評議会、第3評議会の創造主も手伝ってもらい探し出す事ができました。

今は無事全員元に戻っています。」

第1評議会の「虹彩の創造主」は、自分達の仲間が戻ってきてくれた事をとても喜んでいます。

「第8評議会の創造主はどうですか。

あなたは物理次元とスピリチュアル次元の両方が見えているはずですが、」

私は、私のスピリットの系列にある創造主に尋ねました。

「はい、私も下の創造主を使って物理世界まで無事に見渡す事ができるようになっています。

TAKESHIさんや恵理さんたち、そしてスターピープル達の仕事も見る事ができるようになりました。

これで私は物理世界に関わる創造主と物理世界に関わることはできない創造主達の間をしっかりとつなぐことができると思います。」

「第21評議会から上の評議会の創造主はどうですか、

創造主の系列は無事機能していますか。」

私が問いかけると、上位の評議会の創造主達も姿を現します。

「TAKESHIさん、今回はありがとうございました。

各評議会の間で作られたフィルターやスクリーンが全て取り除かれたおかげで、各系列の創造主達がしっかりと繋がっているようです。

そして創造主達の間でラインが正常に働くことによって、上位の評議会にいる創造主達の光がこの物理世界にまでしっかりと流れ込んで行く事ができるようになりました。

私達もこの事に気付かず全く申し訳ありませんでした。」

創造主達は、自分達の力の無さを深く悔やんでいるようです。

「第 24 評議会の創造主よ、これで皆さんの創造主の系列も元に戻り、各評議会の創造主の連携もしっかりと取れていくのではないかと思います。

これからもう一度地球や私達の宇宙の物理世界を立て直し、遅れていたアセンションを急いでやらなければなりません。

あなたがリーダーとなってしっかりと指示を出してあげてください。」

私は、創造主達のリーダーである第 24 評議会の「すべての公正さをつかさどる創造主」に言いました。

「わかりました。

私も「多彩な能力を持つ創造主」にコントロールを受けてとても弱気になっていたようです。

そして私にもこの地球のアセンションの様子が見えておらず、皆さんの苦しみや皆さんが抱えている大きな問題を理解することができずに大変申し訳ありませんでした。

これからは創造主の系列を通して下の物理世界までしっかりと見て正しい判断を下したいと思います。」

それぞれの評議会の創造主達が、今は系列ごとにしっかりと繋がっていったようです。

第 24 評議会から各評議会に向けて順当に光が流れていっているようです。

PART3 闇のエネルギーをクリアーにする存在

各評議会の創造主達は自分達の持ち場に戻り仕事をはじめ多様ですが、私達にはまだ大きな問題が残されています。

「さて第 25 評議会の創造主よ、問題は「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙が、私達の宇宙にゲートを開いて、その宇宙から ダークピープル達や多くの闇の存在達が流れ込んできた事です。

光に返すことができる者達は光に返したようですが、もうすでに人やダークピープル達と一体化したダークピープル達に対する処理をどうしますか。

彼らは地球のダークピープル達に比べると桁違いに強い力や能力を持っているようです。

このままでは、また再び私達の地球が混乱させられクリアリングルームや光の地球さえも大きな影響を受けてしまう可能性もあります。」

「確かにそうです。

人と一体化したダークピープル達はもう光に返す事ができないので、私達にできる事は「多彩な能力を持つ創造主」から受け取った力や能力を全て剥ぎ取る事しかできません。

しかしながらそれを行えばこのダークピープル達も地球にいるダークピープル達と同じ程度の能力になるのでさほど大きな問題は起きないかと思います。」

「分かりました。

しかし何が起きるかわかりませんので私の系列である「光と闇を統合する創造主」の系列の創造主は、この「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙からきたダークピープルやまだ私達が知らない存在たち等、地球に脅威をもたらすような者達の管理を行う仕事を行ってください。

彼らがもし何か隠された能力を持っているとすれば、今の「紫ピラミッド」や他のダークピープル達を取り込んで地球をさらに悪い状態にする可能性も大きいと思われます。
その管理を怠りなく行ってください。」

私は第1評議会のエレナさんに尋ねました。

「地球の物理世界のクリアリングルームや光の保護区の様子はどうですか？」

エレナさんはとても困った顔をして答えました。

「確かに地球の物理世界に流れ込んでくる大きな闇のエネルギーの流れは止まったようですが、私達のクリアリングルームや光の保護区は、その闇のエネルギーによって大きく汚染されてしまいました。今この汚染を取り除くために新しいスターピープル達が私達を手伝いに来てくれているようです。しかしながらこの状況が改善するためにはあと一週間程度は必要なようです。私達の予定は大幅に遅れてしまいました。」

第25評議会の創造主が少し顔を曇らせました。

この責任は自分にあるということを感じていたようです。

私はエレナさんに尋ねました。

「地球の浄化をするために助けに来てくれているスターピープルとはどのような存在ですか？」

「それはアルクトゥールスから来てくれたスターピープルですが、スターピープルというよりも精霊あるいはエネルギーといった方がいいかもしれません。

特に TAKESHI さんの家にはたくさん配置してもらいました。」

「そういえば、大きな黒い背の高い存在が、私達の家を取り囲み、あるいは私達の家の中をウロウロとしているのを数日前から感じていましたがその存在のことですか？」

「そのようです。」とエレナさんはにっこりと笑いました。

アルクトゥールスから来たという事ですので、私は、アルクトゥールス星の出身であるマーリンを呼び出してこの存在のことを聞きました。

マーリンは私達のもとにすぐに現われ、答えてくれました。

「TAKESHI さん、確かにこの存在はアルクトゥールスの者達です

アンドロメダの1人の艦長の要請によって、地球のエネルギーの浄化のために、地球に連れてこられました。

そして、一番闇のエネルギーによって狙われることが多い、TAKESHI さん達の家にも配置されたようです。」

「アンドロメダの艦長と言うと誰のことですか？」と私は聞きました。

マーリンが笑って言いました

「それはあなたのお父さんのスピリットですよ。」

確かに私の父のスピリットはアンドロメダの艦隊の艦長していたようです。

そして太陽種族の子供を生み出すために、自らも肉体を持ってこの地球に降り、私を産んでくれたのです。私の父はもう死期を迎えています、アセンションが完了するまでは地球に残り、私達の事を様々な面で助けてくれています。

私はこの父の計らいを思うと涙が出そうになりました。

「皆さんありがとうございます。」と私の口から言葉がこぼれ落ちます。

この存在は私達の家の中を歩き回り、私達の家の中にあるネガティブなエネルギーや感情を光に変換しているようです。

私達から見ると、黒いエネルギーを食べているように見えます。

しかしながら彼らの働きにも関わらず、それを上回るサイキックエネルギーが私達の元送到られてきます。今までは、「多彩な能力を持つ創造主」の分身達によって隠されていたために、気づく事ができなかったようなエネルギーも、彼らが光に返された事で分かるようになってきました。

「闇のエネルギーを食べてくれる精霊」は、私達の家をぐるりと取り囲むように守っています。

そして特に美輝や結貴の周りのエネルギーをきれいにするように働いているようです。

私はエレナさんに、「この存在にもっとたくさん来てもらって地球の浄化をすすめたらどうですか。」と尋ねました。

エレナさんは、地球の浄化を早く済ませたいと思う私の気持ちを感じ取っているようです。

「TAKESHI さん、皆さんの気持ちも分かるのですが、やはりエネルギーにはバランスというものがありますので、あまりたくさんこの存在を呼んでも地球の光と闇のバランスが壊れてしまいますので、適切な状態を保ちながら働いてもらっています。

しかしながらあの分身達がいなくなった事で、仲間たちの連携もしっかりと取れるようになりましたので私達の仕事もしやすくなりました。」

地球の浄化に関しては、あまり急いで行ってもよくないようです。

しかし、アセンションした世界へ行く予定の人達を集め、クリアリングルームで彼らを守りながらエネルギーの浄化を行っていかうという計画は、最初から大きな妨害を受けてしまいました。

それだけ、地球のアセンションを好ましく思っていない存在達がまだ残っているということです。

第4章 支配されていた創造主

PART1 支配されていた「愛の創造主」

私達は「多彩な能力を持つ創造主」の分身達を発見し、光に返す事ができました。

しかし5人の分身によって地球人の潜在意識がコントロールされ、地球人が進化とは程遠い生き方をさせられていた事も事実です。

そのような生き方をしていた人間達がアセンションへの道に気づき、そして自ら努力してアセンションしていくのかと言うとこれはなかなか難しい問題があります。

地球人は長い間、光40%台の世界にいましたので、その習慣から抜け出す事が、アセンションそのものであるとわかっていても、実際その習慣を抜け出していく人達は本当に少ないようです。

いえ、地球人の多くが、今までと同じ世界に残る事になりますので、アセンションの事さえも知らずに生きていく事になります。

また地球人だけでなく創造主達さえも「多彩な能力を持つ創造主」の分身によって、お互いの絆を断ち切れ、自分達の光も奪われてしまっていたようです。

確かに「多彩な能力を持つ創造主」はとても大きな力と能力を持っていますが、やはり彼のやる事はとても独断で自分にとって利益をもたらさないものは簡単に切り捨てるというような考え方で行動しているようです。

私達は「多彩な能力を持つ創造主」の分身達を片付ける事で、ようやく彼の支配から逃れられるのではないかと考えていました。

しかしながら「多彩な能力を持つ創造主」が仕掛けた罠はこれだけでは終わりませんでした。

彼が作った宇宙から、私達の宇宙に入り込んできたダークピープル達は、私達の宇宙のダークピープル達を超える様々な能力を持っています。

ダークピープルの中には「多彩な能力を持つ創造主」の力を実際に受け取って、その力を行使しようとしていたダークピープル達もたくさんいました。

さすがに「多彩な能力を持つ創造主」のパワーを身につけているダークピープル達は、見つけ次第光に返すという処置を取りましたが、すでに私達の宇宙のダークピープルや地球人と一体化している者達は、光に返す事もできないので、「多彩な能力を持つ創造主」の力を削減するという事だけに留まっていた。

しかしながら、新しくこの地球にやってきたダークピープル達の能力やパワーは、私達の宇宙のダークピープルを超えるものだという事が分かっていたので、そのようなダークピープル達の力をどのように抑えていくのかという事が問題として残りました。

そして地球人の中でも、もうすでに「多彩な能力を持つ創造主」によって作られたダークピープル達から特別な能力を与えられたり、自分と一体化しているダークドラゴンを強化してもらった者達もいます。

そのような地球人によって、光の保護区やクリアリングルームにもネガティブなエネルギーや光 40%前半のエネルギーが流れ込んできますので、クリアリングルームや光の保護区が正常に機能していない事も分かってきました。

私達は、この新しいダークピープルから「多彩な能力を持つ創造主」の力を削減するだけでなく、ダークピープルとしての能力を削減したり、ダークピープルから与えられた能力や力を地球人から分離する事ができないかと考えていました。

つまり、私達の宇宙の創造主ではない創造主によって与えられた力なので、力そのものが無効ではないかと私達は考えたのです。

そして創造主達の評議会での事について検討してもらう事にしました。

「多彩な能力を持つ創造主」によって生み出されたダークピープルを、地球人や私達の宇宙のダークピープルから分離したり、創造主から与えられた能力やパワーを全て地球人から奪い去るという事を私達は話し合ってもらおうとしたわけです。

それを行うことができれば、私達の宇宙から「多彩な能力を持つ創造主」が作り上げたダークピープルを追放することができるからです。

しばらくして創造主の一人が私の元に来ました。

「TAKESHI さん、私達創造主は TAKESHI さん達の意見をもとに話し合ったのですが、TAKESHI さんの意見に賛成する創造主もいれば、反対する創造主もいて、意見を統一する事ができませんでした。

そのために、現時点では、TAKESHI さんがおっしゃるように地球人から、「多彩な能力を持つ創造主」が作ったダークピープルやこの創造主の力を分離することができません。」

おそらく私達の意見に反対している創造主には「多彩な能力を持つ創造主」の影響が何らかの形であるのではないかと私は考えましたので、創造主達にこのように言いました。

「多くの創造主の意見が一致するという事は、それは不可能だと思います。

しかしながら私の意見に反対している創造主達が誰なのか教えてもらっていいですか。

では私の意見に反対している創造主よ、私の前に来てその理由を私達に教えてください。」

そのように呼びかけると出てきてくれた創造主は愛の系列の創造主です。

私はまさか愛を司る創造主が、地球人にダメージを与えるような事に賛成しているとは思っていませんでした。

しかも「愛の創造主」の系列は、恵理さんの直系の創造主なので、自分達のスピリットを地上に降ろして生み出した恵理さんが、これほど傷つけられている様子を知りながら、私が求めているルールの変更に反対するとは驚きです。

「「愛の創造主」よ、あなた方が出てこられた事は、私にとってはとても意外な事です。

あなた方のスピリットを地上に降ろして生み出した恵理さんがこれほど傷つけられている様子を見ていながら、なぜあなた方が私達の意見に反対するのか教えてもらえませんか。」

愛の創造主のリーダーの1人が私の問いに答えてくれました。

「TAKESHI さん達がおっしゃる事は、良く分かるのですが、たとえ私達の宇宙の創造主ではない創造主であったとしても、地球人がその力を得られたという事を尊重しなければなりません。彼らがその力を使いたいと思えば使わせてあげるべきなのです。それが地球人の進化にとって必要な事であると私達は考えます。」

「それではその力によって傷つけられ自分の進化の道を妨害される地球人達もいるのですが、その人達に対しては何も考えていないのですか。」

「それも進化のために必要な事であると私達は考えています。」と「愛の女神」は答えます。

この「進化のためには必要なことだ。」というのは、「闇の働きをする創造主達」がよく使う理論なのです。全てが進化のために必要だと言って、その人達の魂を支配してその人達に特別な力を与え、自分にとって有利なように利用するのが彼らのやり方なのです。

私は「愛の女神」の答えにとっても大きな違和感を覚えました。

そしてスターピープル達に、「愛の創造主」に何か問題が起きていないか「多彩な能力を持つ創造主」のコントロールチップなどが入っていないか調べてもらいました。

するとやはり「愛の創造主」の系列にいる創造主の中に、「多彩な能力を持つ創造主」が彼女達をコントロールするためのコントロールチップが深い場所に隠されていました。

そのコントロールチップによって「愛の創造主」は、自分達らしくない考え方や行動を行っていたようです。私はスターピープル達にお願いしてそのコントロールチップを取り除いてもらいました。

そして取り除いた後に、私は再び愛の創造主に尋ねました。

「愛の創造主よ、私達の宇宙の創造主ではない「多彩な能力を持つ創造主」の力を得たダークピープルや、彼らによって強化されたダークドラゴン達に、私達は大変辛い思いをさせられています。クリアングルームも壊され、光の多い世界に行く人達の精神的な進化も邪魔されているのです。そのために私達は「多彩な能力を持つ創造主」から作られたダークピープルや闇のドラゴンを地球人や地球のダークピープルから分離したいと考えています。

そして「多彩な能力を持つ創造主」が作ったダークピープルから与えられた特別な力や能力は、地球人が使ってはいけないかだと考えていますので、その力を分離したいと考えています。

皆さんはどのようにお考えですか。」

「愛の創造主」は、私の言葉に頷きます。

「私達もそのように思っています。

今の地球の現状を見ると、私達と関わってはいけない創造主が深く関わり、その創造主によって作られたダークピープルやダークドラゴン達が、地球の人々の愛を奪い苦しめているように思います。

私達は「多彩な能力を持つ創造主」のエネルギーを、地球人から分離すべきだと考えています。」

私は心の中で、やはり先ほどの「愛の創造主」の言葉は、コントロールされてしゃべった言葉だったと確信しました。

「しかし「愛の創造主」よ。

私がそのような改革案を出した時に、その事に反対していたのは、まさにあなた方なのですよ。」

「愛の創造主」は、自分達が今までコントロールを受けていた事に気づいたようです。

「TAKESHI さん申し訳ありませんでした。

私達は「多彩な能力を持つ創造主」達によって何か精神的にコントロールを受けていたようです。

自分がやっていた事が、今考えると自分ではないような、自分達の意思に全く反するような事を行っていたような気がします。

どうかお許してください。」

そういつて「愛の創造主」の系列にある創造主は、私の前から引き下がりました。

PART2 「時間に関わる創造主」の秘密

そして次に「愛の創造主」だけでなく、他の系列の創造主達も私の意見に反対する事を述べてきました。

それは「時間に関わる創造主」です。

彼らは、この物理世界やスピリチュアルの世界の時間を管理し、全ての生命の存在を時間と結びつけてくれる創造主です。

彼らが私達の意見に反対している事は、私にとってとても意外な事です。

「時間に関わる創造主」の系列の中でも、第4評議会に属する「流れをつくる創造主」とはとても仲が良く、様々な問題が起きた時、その問題が起きた時間にまでさかのぼって解決するために、「流れをつくる創造主」とはいつも一緒に仕事しているのです。

私は「時間に関わる創造主」に向かって問いました。

「あなた方が私の意見に反対しているという事も驚きですが、なぜ私の意見に反対されるのですか。」

「時間にかかわる創造主」の一人が私の前に出てきました。

「地球人が、一度受け取ったものを取り上げたり、地球人と同化したダークピープル達を地球人から分離するのは、良い方法とはいえません。

これも全て時の流れの中で、起こっている事です。

それを変える事は、時の流れを大きく変える事になってしまいますので、私達としても賛成はできません。」

しかしながら、この「時間に関わる創造主」達の意見には大きな矛盾があります。

「それでは「時間に関わる創造主」よ、お尋ねしますが「多彩な能力を持つ創造主」やあるいはその影響を受けた「宇宙に闇をもたらす創造主」達が、地球や私達の宇宙の遠い過去に戻って活動したことで、私達の宇宙や地球に大きな影響をもたらした事をあなた方はどのように考えていらっしゃるのですか。

その事によって地球人は進化の道を閉ざされ、このような争いの多い闇の深い宇宙を生きる事になったのです。

このことに関しても、あなた方は深く関わっているはずです。」

「それは、「多彩な能力を持つ創造主」達の意思で行われた事です。

私達はその意思に関わってはいません。」

と「時間に関わる創造主」は言いました。

しかしながらそれも納得できない事です。

私は「時間に関わる創造主」に「多彩な能力を持つ創造主」のコードや何かが入っていないかどうかを調べてもらう事にしました。

スターピープルがそれを調べていましたが、格段彼らをコントロールしているようなコードは見当たりませんでした。

とすればこれが彼らの本当の意志なのかと、私は考えていました。

その時に第 25 評議会の創造主が私の元に現れました

「TAKESHI さん、「時間に関わる創造主」達は、「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子をたくさん組み込まれて生み出された創造主です。

コントロールチップがなかったとしても、彼らの意思は「多彩な能力を持つ創造主」と繋がりやすいのです。

「時間に関わる創造主」にそのような気持ちがなかったとしても、「時間に関わる創造主」はその遺伝子によって「多彩な能力を持つ創造主」と同じように考え行動することがあります。」

私はその言葉に納得しました。

「では「時間に関わる創造主」よ、皆さんが考えている事はよくわかりました。

一つ教えてもらいたい事があるのですが、よろしいですか。

私は、最近よく様々な世界に行ったり、時間や空間を超えて何かをしているような夢をよく見るのですが、その事に皆さんは何か関わっていませんか。」

「時間に関わる創造主」は沈黙しています。

私は第 24 評議会の創造主にお願いして、「時間に関わる創造主」が私の夢に関わっていないかどうか調べてもらう事にしました。

その時、先ほどの「愛の創造主」のリーダーが私の前に走り出てきました。

「TAKESHI さん、その事については、私から話をさせてください。」

私は「愛の創造主」に話をするように言いました。

「私達「愛の創造主」は、まだ光 40%台に残る人達を助けるために、「時間に関わる創造主」にお願いして時間をさかのぼり、光 40%台に生きる人と TAKESHI さんをつなぐゲートをいくつも開いてもらいました。

そして私達は、光 40%台の世界に入り、この時期に間に合うように、人々の意識と TAKESHI さんたちを繋げていったのです。」

そのために私が、光 40%台の世界と深く関わり、大きな闇のエネルギーに影響されて体調を壊したり、朝起きるとぐったりと疲れているような事が起こっているようです。

「「愛の創造主」よ、もうすでにそのような事を行う時期は終わっているにも関わらず、なぜ過去に戻ってそのような事をしたのですか。

私はそのために、闇のエネルギーと深く触れ、体調を崩してしまったようです。」

「愛の創造主」は少し困惑したような表情を浮かべます。

「それは、今考えると評議会の決定にも逆らう事にもなりますので、行うべき事ではなかったと思います。しかし、その当時の私達は、1 人でも多くの人を救い出さなければならないという気持ちだけで動いていたような気がします。」

過去と繋がるゲートを開いてはいけない事も十分に知っていたはずなのに、その時は、何も考える事ができずに、光 40%台の世界のゲートを TAKESHI さんたちに開いてしまったのです。」

「愛の創造主」達は、私達に対して謝罪するような気持ちで話を続けます。

「私達は、「時間に関わる創造主」の皆さんにお願いして、私達を過去にまでつれていってもらったのです。今となってはもちろん、そのような事はしてはいけなかったと深く反省しています。

私達が、過去とのゲートを繋げた事で、TAKESHI さんや恵理さん、そして生まれたばかりのお子様たちまで、大きな闇のエネルギーに影響される事になってしまいました。

皆さんの体調が悪くなったのも、おそらく私達が行ったことが原因だと思っています。

本当に申し訳ありません。

「愛の創造主」達は、すべてのメンバーで、TAKESHI さんのご家族から、ネガティブなエネルギーが浄化されるまで、絶え間なく愛の光を送りたいと願っています。」

「愛の創造主」達は、自分達が行った事を思い涙しているようでした。

「「愛の創造主」よ、あなた方が行った事はよくわかりました。

そしてそれは、皆さんの意志ではなく、あなた方をコントロールしていたコードによって、あなた方がそのような行動をとっていたということも理解できましたので、私達は皆さんを咎めるつもりは一切ありませんのでご安心ください。」

「愛の創造主」達は、私達に向かって一礼すると引き下がりました。

私は、「時間に関わる創造主」に向かって言いました。

「「時間に関わる創造主」よ、「愛の創造主」は、自分達が行った事を正直に話してくれました。

それで、あなた方はいったい私を使って何をしようとしていたのですか、あなた方も正直に話してください。」

「私達は「愛の創造主」のお手伝いをしていただけです。」と「時間に関わる創造主」は言い放ちました。私はこの「時間に関わる創造主」の答えが本当であるかどうか疑いました。

確かに「愛の創造主」の手伝いをしていた事は、間違いはないようですが、彼ら自身の目的が他にもあったのではないかと考えているのです。

「あなた方は私達と光 40%台前半のエネルギーを繋いでアセンションを妨害する事を考えていたのではないですか。

この私達の世界に、現在多くの光 40%台の闇のエネルギーがたくさん流れ込んできています。

そのために「多彩な能力を持つ創造主」が作った宇宙から、たくさんのダークピープルや闇の存在たちが流れ込みやすい環境になっているのは、あなた方がそれを分かって光 40%台のエネルギーを私達の世界に流し込んでいるのではないですか。」

「時間に関わる創造主」はおそらく隠す事ができないと思ったのか、「はい、そうです」と小さく答えました。

私は第 25 評議会の創造主に言いました。

「第 25 評議会の創造主よ、彼らは「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子によって作られた創造主であるようですが、その遺伝子を修正する事はできないのでしょうか。」

第 25 評議会の創造主はこの創造主達の様子を見てこのように言いました。

「かつて彼らは「多彩な能力を持つ創造主」をモデルにして作られた創造主達です。

「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子や働きをいくつもの創造主に分離して彼らの系列が作られたと言っても過言ではありません。

そのために、彼らが「多彩な能力を持つ創造主」が現れた時に、彼に同調していくのも不思議ではないのです。

しかしそうであっては地球のアセンションはうまくいかないという事は分かりきっていますので、私達の方で彼らの遺伝子や「多彩な能力を持つ創造主」との関係をなんとか修正するように努力したいと思います。」

「わかりました。

それでは「時間に関わる創造主」の意見はこの件に関しては無効だという事でもよろしいですか。」

第 25 評議会の創造主は頷きました。

私は各評議会の創造主に呼びかけました。

「「愛の創造主」も「多彩な能力を持つ創造主」達の力を地球人から分離する事を認めてくれました。

これで「多彩な能力を持つ創造主」の力を地球人から分離する事に反対する創造主はいないと思いますので新しいルールとして私達の宇宙以外の創造主である「多彩な能力を持つ創造主」が生み出したダークピープルやダークドラゴンを地球人と分離し、そして与えられた力や能力を地球人から取り去る、という事を決めたいと思います。

これは主に第 1 評議会、第 2 評議会が中心となって行うべき事だと思っていますので、どうかその方法について話し合ってください。」

私が、そのように言うと、創造主達は、私の元からずっと消えていきました。

もちろんこの事が物理世界で実行できるかどうかはわかりませんが、私達としては「多彩な能力を持つ創造主」の影響を少しでも減らす事ができればと考えています。

そうでなければ、11 月 15 日から始まる新しいアチューメントでも、ダークピープル達に操られた人々が私のアチューメントを受ければ、その人達を通して、多くの闇のエネルギーが私達に流れ込んでくる事は明らかです。

第5章 「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子

PART1 悪用された創造主の光を降ろすためのルール

しかしながら「多彩な能力を持つ創造主」が作ったダークピープルと元からいたダークピープル達は、すでに手を組み、私達への攻撃をさらに強めてきました。

生まれたばかりの結貴が家に帰ってきた10月の末頃から、彼らからのサイキックアタックは激しくなり、子供たちの体調も思わしくありません。

美輝は咳き込むことが多くなり、結貴は母乳性の黄疸や貧血気味の症状で私立病院へと通うことになりました。

彼らのサイキックアタックは、地球人の潜在意識の中にある怒りや憎しみの感情や私達に対する依存心や助けてほしいという気持ち、あるいは自分が見捨てられたのではないかというような怒りの感情を使って、私達を攻撃してくるのです。

私達は、このようなサイキックアタックに対して、長い間辛い思いをさせられています。

例えば、誰かにアチューメントを行うと、相手の人が繋がっている間のエネルギーが流れ込んできて、恵理さんや子供達が体調を崩す事がよく起こりました。

あるいは妊娠中に胎児に影響が出るほどの大きなアタックを受けた事も何度もありました。

もちろん私の体調も悪くなり、私の会社もスタッフが急にやめたりして、トラブルが起きる事も増えてきました。

それは、ダークピープル達の操作によって、アチューメントを受ける人を通して闇のエネルギーが私達を襲ってくるからです。

それがここ数日、今までよりも強いサイキックなエネルギーが送られてきたのです

私は、サイキックな攻撃が続けば、これから私達が行う新しいアチューメントに対してとても大きな影響を与えるのではないかと考えていました。

今回行われるアチューメントでは、地球の人々の遺伝子の修復や活性化なども行うために、地球を支配したいと考えるダークピープル達からすれば、行なってはもらいたくないアチューメントです。

私達はアチューメントを始める時のために、人々を通じて送られてくるネガティブなエネルギーや様々なヒーリングを行っている存在達のエネルギーだけはもう受け取りたくないと考え、その事を第25評議会の創造主をはじめ、このことに関わる創造主達に相談しました。

「創造主よ、地球の人々の潜在意識や個人的な意識を利用してダークピープルやダークドラゴン達が私達を攻撃してくる事をなんとか防ぎたいのですが方法はありますか。

地球の人々の意識をダークピープル達が勝手に利用する事はよくない事だと思うのですが、それが今までの地球では認められていたのでそのルールを何とかしてもらいたいのです。」

「わかりました。TAKESHIさん。

しかしこれは遠い昔に作られ、守られ続けているルールです。

そしてそれは地球だけではなく、他の星々や他の宇宙にも共通しているルールなので、地球だけのルールを変えるというわけにも行きません。

このルールに関しては私達も簡単に変更する事ができないのです。」

私は、このルールを誰が作ったのか知りたいと思いました。

「このルールは誰が作ったのですか。

皆さんが作ったルールではないのですか。」と私は尋ねました。

第 25 評議会の創造主が私に答えてくれました。

「いえ、このルールは私よりもさらに上位の第 26 評議会の創造主が、まだ宇宙の創造や運営に関わっていた時期に作られたルールなのです。

本来このルールは、その星に生きる人達がより良い進化を行うために、スターピープルや光の創造主達がその人達を通して、星に光を降ろすために作られたルールでした。

それは、TAKESHI さんと私達が現在行っているように、あなたの意識やあなたの潜在意識を通してスターピープルや創造主が、地球に生きる人々に働きかける事を可能とするためのルールだったのです。

しかし現在はダークピープルや闇の創造主達の方がこのルールを利用して、地球の人々をコントロールするようになってしまいました。

皆さんにネガティブなエネルギーを送っているのも、このルールを悪用して行っているのです。」

「そうだったのですか、そういう目的のために作られたルールだったとは、私は知りませんでした。

もともと私達のような存在が、地球や宇宙の進化のために、創造主やスターピープル達と共に働くためのルールだったのですね。」

「そうなのです。

もともとはそのようなルールだったのです。

このルールを作った創造主達と協議して、このルールを変更できるのか、できないのか相談しますのでしばらくお時間をください。」

そう言って第 25 評議会の創造主は私達の元から消えていきました。

私は、私の考えを各評議会の創造主に話をして、それぞれの系列にいる創造主が、私の意見に対して、どのように考えるのか知りたいと思いました。

私は各系列の創造主に集ってもらいその事を話しました。

「創造主達よ。

私達がアセンションを進めるにあたってとても大きな障害があります。

私だけでなく光を持った地球人達が進化するためには、早急に解決しなければならない問題です。

それはダークピープルや闇の創造主達が、地球人の意識や潜在意識を通して、他の人達に働きかける事ができるというルールです。

元々はスターピープルや光の創造主が、その星の進化や人々の成長のために、特定の人間を通して、その星の人々に光を送り指導するためのルールだったのですが、それが今はダークピープルや闇の創造主に利用されているのです。

私達は、地球の人々の個人的な意識や潜在意識をダークピープル達が勝手に利用して、他の人達に攻撃を行う事を禁止する事を考えているのです。

皆さんはそれぞれどのように考えていらっしゃるか教えてください。」

愛の創造主の系列と守護の創造主の系列の創造主はこのように答えました。

「私達は地球の人々を守護するために愛の光や守護の光を送っています。

しかしながら、それがダークピープル達や闇の創造主によっていつも遮られ、人々を守護する事ができないのです。

私達はそのようなルールを撤廃していただき、ダークピープルや闇の創造主が多くの人達に影響を与えないようにしていただきたいと思いますので、このルールを変える事に関しては賛成です。」

PART2「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子の秘密

しかしながら、私の意見に反対する創造主の系列もいました。

それは「パワーの創造主」と呼ばれる創造主の系列の者達です。

彼らはこのように考えていたようです。

「創造主のスピリットを持った者や優秀なスターピープルのスピリットを持った地球人は、この地球の物理世界で大きな苦勞を味わって成長し進化する事が当然だと、私達は聞いています。

そのために今回のルールがあっても構わないと私達は考えているのです。

創造主はそのくらいの事を跳ね返すだけの力がなければ、創造主として立派な成長はできないのです。

私達の宇宙における偉大な創造主の多くが、そのような経験をして成長していったのです。

私達はこのルールを変更する必要はないと考えています。」

私は「パワーの創造主」に言いました。

「それでは皆さんは、私達がダークピープルや闇の創造主の攻撃を受けて苦勞している事に対しては当たり前だとおっしゃるのですか。

私達が創造主として成長するためにそれが必要な事だと考えているのですね。」

「パワーの創造主」は、「はい、そうです。」と答えました。

おそらく「パワーの創造主」の系列の者達は、「多彩な能力を持つ創造主」の影響が強いのかもかもしれません。

私は、戻ってきたばかりの第25評議会の創造主に尋ねました。

「「多彩な能力を持つ創造主」は、このように地球に降りて苦勞しながら自分の能力を勝ち得たのですか。第25評議会の創造主よ、私達に教えてください。」

第25評議会の創造主は、苦笑いをしながら答えました。

「いえ、「多彩な能力を持つ創造主」はTAKESHIさん達のように、星々に降りた事はありません。

彼の能力は本来元からあるのです。」

「という事は、創造主であれば地球に降りて様々な苦勞を体験して成長していかなければならないという事は、根拠がない事なのですね。

この事は「多彩な能力を持つ創造主」が「パワーの創造主」に与えた間違えた情報だということでしょうか。」

第25評議会の創造主は、私に向かって頷きました。

「TAKESHI さん、「パワーの創造主」達は、「多彩な能力を持つ創造主」の小型版とでも言える創造主達なのです。

この「パワーの創造主」達は宇宙を創造するパワーや運営するパワーにとってもたけています。

それは「多彩な能力を持つ創造主」の力を他の創造主達よりも多く得ているからなのです。

彼らは「多彩な能力を持つ創造主」と同じような考え方、あるいは彼の意思を受け継いでいると考えても間違いではありません。」

確かに第 25 評議会の創造主の言うことには、納得させられます。

「パワーの創造主」には、「多彩な能力を持つ創造主」にも似た傲慢さや人の意見を受け入れない頑固さがあるようです。

これは、コントロールチップや意識のコントロールという問題ではなく、彼らの本質のようです。

「第 25 評議会の創造主よ、私達は「多彩な能力を持つ創造主」の影響を受けた創造主をどのように扱っていけばよいのでしょうか、教えてください。

「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を取り除き、彼らの考え方を変えてもらうような事はできないのでしょうか。」

私も少し弱気になりました。

すると、第 25 評議会の創造主は、私に向かって大切な秘密を教えてくださいました。

「TAKESHI さん、実を言うと皆さんの宇宙の創造主のほとんどが「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を持っているのです。

皆さんの宇宙の創造主を作る時には「多彩な能力を持つ創造主」は、それほど独断的で自己中心的な創造主ではありませんでした。

全ての創造主の見本となるようなすばらしい創造主だったのです。

そのために、私達は彼の光や彼の能力をいくつもの系統に分けて皆さんの宇宙の創造主を作り上げたのです。その中でも「パワーの創造主」や「時間に関わる創造主」達は、最も多く「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を使用して作られています。

「愛の創造主」や「守護の創造主」は「多彩な能力を持つ創造主」の能力とは少し異なる働きをしていますので、彼の遺伝子や光はさほど多く入っていません。

そのために「愛の創造主」や「守護の創造主」をコントロールするためには、「愛の創造主」につけられたようなコードが必要なのです。

しかしながら「時間に関わる創造主」や「パワーの創造主」達のような創造主には、「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子がより多く組み込まれていますので、彼らをコントロールする事は決して難しくないのです。おそらく彼が光に返されると分かった時に、自分の遺伝子が皆さんの宇宙の創造主の中で大きく発動するようにして自分の意思を受け継ぐように彼が仕向けたのだと思います。

そのために「パワーの創造主」や「時間に関わる創造主」は、自分達の意味で「多彩な能力を持つ創造主」と同じような事を行おうとしていたのです。」

私は、第 25 評議会の創造主の説明を聞いて、多くの事がすべて関連付けられ、それが「多彩な能力を持つ創造主」によって仕組まれていた事が理解できました。

そして、私がこの数日、悩んでいた事にも回答を得たいと思いました。

「第 25 評議会の創造主よ、教えていただきたいのですが、私の創造主の系列の中にも「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子が組み込まれていたという事ですか。」

「残念ながらそうです。

あなたにとって最高レベルの創造主は第 24 評議会の「すべての公正さを司る創造主」ですが、彼も「多彩な能力を持つ創造主」にとっては子供のような存在なのです。

しかし、彼の立場や役割と「多彩な能力を持つ創造主」の考え方は大きく異なっていますので、彼はいつも「多彩な能力を持つ創造主」によって、自分の仕事を邪魔され、貶められていたようです。

しかし「すべての公正さを司る創造主」は、そのような妨害にも負けず、自分の責任をいつも貫こうとしていました。

しかし、彼自身も「多彩な能力を持つ創造主」から生み出されたという負い目を払しょくすることはできなかったようです。」

第 25 評議会の創造主の言葉で、私はこのところ、私の心の中で起こっていた事が納得できました。

「第 25 評議会の創造主よ、実を言うと「多彩な能力を持つ創造主」が光に帰ってから、私の心の中で「多彩な能力を持つ創造主」を復活させなければならない、「多彩な能力をもつ創造主」とひとつになれば、この現実世界を支配する事ができる、というような声が頻繁に聞こえてくるようになったのです。

それも、私の中に「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子があるためなのでしょうか。」

「それはあなただけでなく、皆さんの宇宙の上位にいる創造主達は、皆そうなのです。

あなたと同じように「多彩な能力を持つ創造主」の誘惑と戦っているのです。

しかし、多くの創造主が、その誘惑に負けたり、心をコントロールされたりして、皆さんの宇宙は大きな混乱の中にあつたのです。」

私は現在、自分の会社の経営に対して、とても大きな不安がありました。

そしてアセンションが進まず、自分や自分達の家族がどんどん体調を崩したり、精神的に追い込まれていく様子を見て、不思議な事に「多彩な能力を持つ創造主」と一体になれば、そのような不安や悩みは全て消え去ってしまうというような気持ちに時々させられてしまったのです。

さすがに「多彩な能力を持つ創造主」の復活に手を貸そうとは思いませんでしたが、そのような気持ちが終始湧いてくる事に不思議な感じを覚えていたのです。

しかしながら、それは私と深くつながる創造主に組み込まれた「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を通して、私に呼びかけてくる声だったのでした。

そして、全ての創造主が私と同じように「多彩な能力を持つ創造主」の声を聞き、自分自身がどうしたらよいのかという事を迷っていた事を知りました。

「パワーの創造主」や「時間に関わる創造主」達は「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子が大きく組み込まれていたために「多彩な能力を持つ創造主」の意見に同調し、彼と同じような事をしていたようです。

「パワーの創造主」を調べてみると、彼らは人々を通して私達に送られてくる感情のエネルギーやアチューメントを行う時に、アチューメントを受けると繋がるダークピープルやダークドラゴンのエネルギーを私達にぶつけていくサポートを行っていたようです。

彼らとしては、地上に降りた創造主を鍛えるために、正当な事を行っているという気持ちがあって行なっていたようですが、それも「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子によるものでした。

PART3 「多彩な能力を持つ創造主」遺伝子の変更

私達と各系列の創造主達の話がひと段落ついた様子を見て、第 25 評議会の創造主が、創造主を集めて口を開きました。

「皆さん、TAKESHI さんから求められたルールの変更について、第 26 評議会の創造主様の意見を聞いてきましたのでお話しします。

第 26 評議会の創造主様は、私達がこのルールに関して作り変える事を望むのならば、作り変えても良いと言う意見を言われました。

しかしながら作り変えるにあたっては慎重に物事を考え、このルールを変える事でどのような影響が出るのか、何が変わるのかという事をよく考えて作り変えてくださいと言われました。

皆さんの中ではこのルールに対していろんな意見が出ているようです。

しかしながら本来作った目的とは異なる目的で、現在このルールが使用されているようなので、皆さんの宇宙に関してはこのルールに関して若干の変更は認めてもよいと、私も考えています。」

私は第 25 評議会の創造主の話聞いて、私達はとても安心しました。

このまま新しいアチューメントに入っても、また光のピラミッドと同じように、私達が大きなダメージを受けてしまうのでは何にもなりません。

人々をアセンションに導くどころか、私達が深い闇の中に落とされてしまえば、このアチューメントをやる意味がないのです。

私は第 25 評議会の創造主にこのように答えました。

「私達の創造主の中でも「パワーの創造主」の系列や「時間に関わる創造主」の系列がこのルールを変える事に対して反対しているようです。

しかし他の創造主に関してはこのルールを変更する事を認めているようです。

ただ「闇の働きをする創造主」に関しては、この事に関して私達の前に出てこようとしません。」

第 25 評議会の創造主は笑っていました。

「それはそうですね。

「闇の働きをする創造主」は、人々を攻撃することが彼らの役目なので、このルールを変更されると彼らの仕事ができなくなります。

変更しないように考えても仕方がない事です。

これは私や他の創造主達の中で検討していきましょう。」

「闇の働きをする創造主」はまさに「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子や闇の部分をもっと多く受け継いでいる創造主です。

彼らは、このルールを使って様々な障害やダメージを皆さんに与えているのでこのルールを変更されると一番困るのは「闇の働きをする創造主」なのです。

私は、話を少し変えます。

「第 25 評議会の創造主よ、今のままでは「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子が活発に動き始めて、私達のアセンションを邪魔する創造主が現れるか分かりません。

私達の宇宙の創造主から「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を除去して異なる遺伝子に変えるという事はできないのでしょうか。」

「私達は皆さんの宇宙にいる全ての創造主から「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を、できる限り抜き取り、新たな遺伝子を入れ込みたいと考えています。

しかしその事は時間をかけて、しっかりと考えてからでないと実行するわけにはいきません。

この事に関して第 25 評議会の創造主である私は責任を持って取り組みたいと考えています。」

「それでは創造主の遺伝子を組み替えるのにどのくらいの時間が必要なのですか。」

「皆さんの時間で言うならば、少なくとも一週間程度の時間はかかると思います。

彼らがどのような事を考え、どのような働きをするのか、という事を調べながら、それにふさわしい遺伝子を与えていかなければならないからです。」

「わかりました。

それではその事は皆さんにお任せしたいと思います。

どうかよろしく願いいたします。」

私がおのように言うと全ての創造主は私達の前から消えていきました。

第6章 新たに生み出された闇の創造主

PART1 「時のゲート」からあらわれた創造主

11月6日の朝、急に美輝が高熱を出してぐったりとしてしまいました。

そして恵理さんに対しても大きなエネルギーが襲いかかり、腰の痛みがひどくなったようです。

私は、美輝を子供クリニックに連れて行ったのですが、様々な感染症を調べても問題がなく、美輝が熱を出し原因がお医者さんにも分からないようです。

おそらく、感染症などの問題でないとすれば、その原因は、私達の家周りのエネルギーがおかしくなっているか、ダークピープル達によるサイキックアタックであることも考えられます。

私達は、美輝や恵理さんに襲いかかってきたエネルギーがどこから来ているのか、スターピープル達にお願いして調べました。

そうすると恵理さんのビジョンの中に、「時間に関わる創造主」達が時間をさかのぼって移動し、アセンションが始まる前の時代のダークピープルや地球人に「闇の創造主」達の力を与えている様子が映し出されてきました。

「時間に関わる創造主」は、それらのダークピープルや「闇の創造主」達との間にゲートを開き、私達やアセンションを望んでいる人達に闇のエネルギーを流し込んでいたのです。

「時間に関わる創造主」は「多彩な能力を持つ創造主」の能力をととても多く受け取っており、時間を遡ったり、未来に行ったりする事ができる能力を持っていますので、非常に重要視される創造主でもあります。

「時間に関わる創造主」というのは他の創造主とは異なるエネルギーや能力、資質に満ち溢れている特別な創造主なのです。

その創造主達が「多彩な能力を持つ創造主」の意思によって動かされていた事で、この宇宙で大変な異変が起きていないか調べなければなりません。

私達はこの「時間に関わる創造主」が、過去にさかのぼって開いたゲートがいくつもある事を知りました。

もしかしたら、私達が受けているサイキックアタックは、この「時間に関わる創造主」がつくったゲートと深い関わりがあるかもしれません。

私達は創造主やスターピープルを動員して「時間に関わる創造主」がつくったゲートを調べる事にしました。

「時間に関わる創造主」達は、いち早く第25評議会の創造主によって、その遺伝子を組み替えられ「多彩な能力を持つ創造主」の意思が反映しないようにされています。

そうしなければ「時間に関わる創造主」達が「多彩な能力を持つ創造主」を復活させる事は目に見えているからです。

私達の前に「時間に関わる創造主」達が数名降り立ってきました

私は彼らがそろそろ「皆さんが過去に戻って、過去の時代と現代をつなぐために作ったゲートをもう一度調べたいのです。

どうか私達に協力していただけませんか。」とお願いしました。

新しく生まれ変わった「時間に関わる創造主」は、私の求めに応じて、自分達が行った事を明らかにする事を約束してくれました。

彼らが作ったゲートは主に5つあるようです。

私達は「時間に関わる創造主」に、最初のゲートのところまで案内してもらうことにしました。

「時間に関わる創造主」は時間を遡り、私達を最初に作られた「時のゲート」のもとに連れて行きました。

私はこの「時のゲート」から何が起こったのか、このゲートから出入りしている存在がいらないか、時間の流れを追って調べるように言いました。

私達の前で、まるで映画が早送りされるように映像が流れ出して行きます。

多くのダークピープルやダークドラゴン達が出入りしているのが見えます。

そしてその中に見かけない創造主の姿が見えました。

私を通してその映像を見ていた第25評議会の創造主がその映像を止め、創造主の事を調べ始めました。

「TAKESHIさん、これは皆さんの宇宙の創造主ではないようです。

おそらく「多彩な能力を持つ創造主」が新たに生み出した創造主ではないかと思います。

彼の事ですから、おそらく自分の分身もやがては見つかるだろうと考え、その次の手を打っていたようです。

彼は新しく創造主を生み出し、その創造主に様々な任務を与えていたのではないかと思われます。」

それは大変な事になりました。

スターピープルや創造主達のため息が聞こえそうです。

「多彩な能力を持つ創造主」の分身によって、地球はとても大きな闇の中に巻き込まれるほどのコントロールを受けていたのですから、彼が作った新たな創造主がいるとすれば、早く見つけて処理しなければ、私達のアセンションはさらに大きな妨害を受ける事になるでしょう。

今朝、急に美輝が高熱を出してぐったりとしているのも、この創造主達によるサイキックアタックが原因かもしれません。

彼らは、仲間の創造主達が見つかり、光に返されたことで危機感を抱き、私達に攻撃を行ってきたようです。

そうなれば、私達家族の生命の危機を新たに迎える事になるのです。

私達は、私達の宇宙の創造主だけでなく「愛で統一された宇宙」の創造主や強い守護力と探査力を持つスターピープル達と共に「時間に関わる創造主」が生み出した創造主を見つける事にしました。

最初のゲートに関わっている創造主は3人いるようです。

しかし彼らがどこにいるのか手がかりさえありません。

私は自分自身の意識を拡張し、私が持っている全てのゲートを開いて、新たに作られた創造主が隠れている場所を見つけ出す事にしました。

全ての創造主やスターピープルも私の意識と同調します。

しばらく地球上のさまざまな場所を探索していると、1人目の創造主が、時の流れの中を動き回り、様々な世界に関わっている様子が映し出されました。

私達は、見つかった創造主のエネルギーをもとに、そのエネルギーの出所を多くの創造主が一体となって探し回りました。

すると最初の創造主が、時間の狭間の中に隠れているのを見つけました。

彼は主に時間の中を自由に動く事ができる創造主のようです。

様々な時間に入っていき、この地球のアセンションが失敗するような仕掛けを作る事を行っているようです。あるいは、地球の平行世界（パラレルワールド）を作り出し、私達が望む未来とは異なる未来を、今の地球につなげることを企んでいるようです。

私達はすぐにこの創造主を捕まえ、第25評議会の創造主に引き渡しました。

PART2「多彩な能力を持つ創造主」によって作り出された創造主

さらに、私は自分の意識を拡張して探索を続けると、2人目の創造主の手がかりが見つかりました。

それは、地球の海の中に漂う小さなゲートです。

波で揺れて海の光を反射しているために、それがゲートだとは分からないほど小さなゲートです。

私達はその中に入って行き、しばらく探索を続けると、ゲートのさらに奥深い場所に、1人の創造主が見つかりました。

第25評議会の創造主に捕らえられたその創造主も、やはり「多彩な能力を持つ創造主」によって作られた新しい創造主でした。

彼は地球人の集合意識や潜在意識を利用して、地球人が進化しないように様々な欲望やネガティブな感情を地球の人々に送り込んでいました。

そして私達だけでなく光を持った人達に対して、ネガティブな感情のエネルギーをぶつけて精神的な成長を行うことを妨害していたようです。

またダークピープルやダークドラゴン達を使って、光を持っている人達から、光を奪う事も行っていたようです。

そして3人目の創造主も見つかりました。

彼は驚いた事に大天使たちの集合意識の中に隠れていました。

今まで私達が危険に遭遇した時や守護が必要な時に、大天使たちがその力を制限され、私達を十分に守る事ができなかった事がよくありました。

それはこの「多彩な能力を持つ創造主」によって作られた創造主によって、大天使達が力を制限されていたためだったようです。

そして大天使達は、この創造主の妨害により、私達だけでなく地球の人達を守護する事ができないようにされていたようです。

また、ダークエンジェル達は本物の天使達に成りすまし、多くのヒーリングやスピリチュアルな活動に関わる人々のスピリットを捕え利用していますが、ダークエンジェル達を生み出し、地球の人々の欲望を掻き立て、人々を支配していたのもこの創造主のようです。

私達が、2つ目のゲートと3つ目のゲートも開くと、そのゲートに関わっていた新しい創造主達も見つかりました。

4番目に見つかった創造主は、主に地球のアセンデットマスターや地球の神々の意識の中に隠れていました。そしてアセンデットマスターや地球の神々を裏で支配しコントロールしていたのです。

今までの事を考えてみれば、私と仲が良いサナートクマラ達も、すぐに闇の存在につかまって自分達の行動を制限されてしまうことが良くありました。

きっと、サナートクマラもそのスピリットをこの創造主に支配されていたので、自分が思うように動くことができなかったのでしょう。

そして他のアセンデットマスターもこの創造主に支配されて、地球人に間違えた情報を教え、闇が深い世界へと導く指導をさせていた事も分かりました。

この新しく作り出された創造主は、人々のマスターや神々に対する依存心あるいは服従心を利用して地球の人々を支配していたようです。

地球の物理世界に降りた神々は、さらに大きな問題を抱えていました。

それは地球の人々が、自分の利益や自分の個人的な願いばかりを神々に叶えてくれるように求めてしまったために、神社などに鎮座する神々も少しずつ自己中心的な存在になってしまったのです。

そして、本来の目的である「地球人を成長させ進化させる」という事を忘れてしまいました。

その結果、自分自身も欲望や支配欲の虜となり、本来の神々の働きを忘れて、地球人を支配するための宗教教団や組織を作るようになってしまったのです。

これも「多彩な能力を持つ創造主」が作り上げた創造主によって、地球の神々が支配されていた結果です。

そして最後に見つかった創造主は、やはり私達の宇宙の創造主の集合意識の中に隠れていました。

それも今回は第1評議会から第20評議会までの創造主達の意識の中に隠れていたようです。

おそらく「パワーの創造主」や「時間に関わる創造主」達がアセンションを妨害していたのは、遺伝子だけの問題ではなく、この創造主が働きかけていた事も原因のようです。

「多彩な能力を持つ創造主」は、地球と私達の宇宙を支配するために、5人の創造主を新たに生み出してそれぞれの場所へと配置していた事がわかりました。

そして、地球のアセンションを徹底的に妨害し、私達の宇宙の創造主が未熟である事を、第25評議会の創造主に示したかったようです。

私は第25評議会の創造主に「このような事が行われている事をご存知なかったのですか。」と尋ねました。

第25評議会の創造主は、困り顔で答えました。

「私も「多彩な能力を持つ創造主」が新たな創造主を生み出していた事には気づいていませんでした。

しかし彼は全ての創造主の英知を超えた存在です。

彼が行う事は誰も予測できません。

そして彼は、皆さんの宇宙を叩き潰すために様々な仕掛けを残していったのです。

私達も、彼の計画を予測し、皆さんを守る事は不可能なのです。

しかし今回「多彩な能力を持つ創造主」が作り出した5人の創造主が明らかになったという事は、とても重要な事です。

まだ何かあるかわかりませんが、彼が作った仕掛けをひとつずつクリアーにしていかなければ、皆さんのアセンションは終わらないのです。」

私達が新しく生み出された創造主達を全部捕まえ終わった頃、ようやくぐったりとしていた美輝も元気になり、起き上がってみかんやご飯を食べ始めてくれました。

彼らの力によって一番ダメージを受けているのは、実は美輝であり結貴のようです。

早く私達の子供達にダメージが来ないように「多彩な能力を持つ創造主」の仕掛けを全て明らかにして地球のアセンションを進めていきたいものです。

第7章 紫ピラミッドの女帝の復習

PART1 紫ピラミッドの闇の女神

2018年の11月に入ると私達もとても忙しくなりました。

恵理さんは次女の結貴と共に家に戻った事で、勇気を含め子供達の育児に日々追われています。

私も子育てを手助けしながら、11月15日から始まる「新聖なる宇宙の光」のアチューメントに向けての準備を進めています。

私は「神聖なる宇宙の光」の専門のホームページサイトを作る事に時間をかけるようになりました。

私のサイトを見る人達はパソコンだけでなくスマホで見る方が多いので、私が作ったアチューメントのテキストを十分に読む事はできません。

そのためにアチューメントを受ける人達が十分な情報を得られるように、スマホ用のホームページを充実したサイトを私はいつも作っているのです。

最初は、以前作っていた「レムリアの神殿」のホームページを作り変えて「神聖なる宇宙の光」のサイトを作っていましたが、どうした事かいくつもの不具合が起きてうまく作る事ができません。

全てページを作成してサーバーにアップしたとしても、私達のパソコンで見るとホームページの形が崩れていてきれいに表示されません。

私は何度も何度も修正を加え作り変えたのですが、一つのパソコンでは綺麗に見えても他のパソコンでは形が崩れているというとても不思議な現象が起こるようになりました。

そのために私の疲労は高まり、目も痛くなりイライラが募ってしまったのです。

私はレムリアのホームページをリニューアルする事を諦めて、デザインも変えて新しいサイトを構築しました。

そうすると今度はホームページも正しく表示され、情報も問題なく読む事ができるようになりました。

スターピープル達に、この事を聞いたらやはりインターネットを介してダークピープル達がこの「神聖なる宇宙の光」のサイトを作る事を邪魔していたようです。

そして彼らはサイトを作る事を邪魔するだけでなく、私に対して大きな目の疲労と自律神経の異常をもたらしてきました。

私はホームページが作り終わった頃から目の異常を感じるようになりました。

部屋の中では何ともないのですが、車を運転する時に周りの光や車のライトが眩しくて車の距離感がつかめないのです。

特にカーブを曲がる時などは一瞬視界が見えなくなるような時がありました。

そして私の中の精神的なイライラも高まります。

これは医学的に言うと、パソコンを使いすぎた事によるVDT症候群のようですが、おそらくその原因はダークピープル達による私の活動の妨害である事は間違いないようです。

彼らが、パソコンを通して私の目から入り込み、眼神経や脳神経にダメージを与えたようです。

私達の体をメンテナンスしてくれるクワトロ星人やホーリー達にお願いしてこの症状を取り除いてもらう事にしたのですが、パソコンやインターネット、ITなどを通して、私達に働きかけてくるダークピープル達は除去できたとしても、私の体の中に残ったエネルギーの除去にはしばらく時間がかかるようです。

彼らとしてみれば「神聖なる宇宙の光」はもっとも行ってもらいたくないアチューメントのようです。それは人々の中から、ダークピープルや不要なエネルギーとの繋がりを切り離すことで、ダークピープル達が人々をコントロールできなくなるからです。

そして、人間の遺伝子を修復しスターピープルとして活性化させるという目的を持ったアチューメントですから、このアチューメントを受ける事によって多くの人達が、ダークピープル達の支配から逃れて新しいアセンションへの道を歩む事が可能となります。

そしてそのような中11月8日の事、私達にとっても大きなサイキックアタックが襲ってきます。今回は、私の長女である美輝に襲い掛かり、美輝は大きな発熱を起こしたのですが、その事によって「多彩な能力を持つ創造主」が新しく生み出した創造主達を見つけ出し捉える事ができました。

そして今回は、恵理さんと結貴を襲ってきたようです。恵理さんはサイキックなエネルギーを敏感に感じますので、そのエネルギーによって腰の痛みや体の不調を感じているようです。結貴も何か怖いものが見えるようで、一向に泣き止む気配がありません。私も目の調子が今まで以上に悪くなりパソコンを見る事さえもできなくなりました。

私達を襲っているエネルギーをスターピープル達にお願いして調べてみると、とても大きな闇をまとった女神のような存在が浮かび上がってきました。今までのダークピープルや闇の女神とは異なり、とても大きな憎しみや怒りのエネルギーを持っており、他人に恐怖を与える事を何とも思わないような強い威圧感が備わった女神です。

私はすぐにスターピープルと創造主にこの女神を捕えてもらい調べました。そうするとこの闇の女神は、「多彩な能力を持つ創造主」の力を受け取っていたのです。多くのダークピープルや闇のマスター達から「多彩な能力を持つ創造主」の能力を全て剥ぎ取っていたのですが、まだ「多彩な能力を持つ創造主」の力を持っていた者がいたようです。私は創造主にお願いしてこの闇の女神から「多彩な能力を持つ創造主」の力を抜き取ってもらう事にしました。

しかし、この闇の女神は「多彩な能力を持つ創造主」だけでなく、今まで私達が処理してきた「宇宙に闇をもたらす創造主」達などの能力も合わせて持っていたようです。この闇の女神は、創造主達の力を背景に、多くのダークピープルや闇の存在達を支配しているようにも見えます。このような力を持った女神が一体どこに隠れていたのだろうと私達は不思議に思いました。

するとスターピープルの1人が私のもとに来て言いました。
「TAKESHIさん、この闇の女神は「紫ピラミッド」の中心部にいる存在のようです。」

今までは隠れてダークピープル達を操っていたようですが、多くのダークピープルやあるいは「多彩な能力を持つ創造主」の分身や彼が作った新しい創造主達が光に返された事によって、TAKESHI さん達に強い恨みを持って攻撃を仕掛けてきたようです。」

まさにそのように大きな怒りや憎しみの感情が、私達の体にぶつかってきました。
彼女は自分が持っていた能力を、創造主から削減されたことで、とても怒って忌々しそうに言いました。
「お前たちに絶対に復讐してやるから見ている。」
まるで私達の背筋が凍らんばかりの怒りを込めた言葉を残して帰っていきました。

PART2 捕らわれていたファラオ達

そしてその夜、昔一緒に活動していた鳳凰族やバード族が私達のもとにやってきました。
鳳凰族は、第1評議会の中でも、物理世界に近い場所に存在する創造主で、物理世界の運営を担当しています。
そしてバード族は、鳳凰族を手伝って宇宙の運営に関わる様々な問題进行处理するスターピープルです。
彼らは、私達の宇宙に生きる人々を守護し導く存在達で、私とも仲が良い存在達です。
私達が、星のツアーで使っていたスピリチュアルレベルの宇宙船フェニックス号は、このバード族によって作り出されたものです。

私は急に彼らが現れてきた事に驚きましたが、彼らはこのように言いました。
「私達は今まで「紫ピラミッド」の女王によって捕えられていたのです。
TAKESHI さんや創造主様たちによって、「紫ピラミッド」の女王の力が削減されたために、私達は捕えられていた場所から逃げ出す事ができました。
本当にありがとうございます。」

彼らは、物理世界にとっても近い次元を守っている創造主とスターピープルですから、そのような存在が「紫ピラミッド」に捕まえていたのでは、地球人の浄化や物理世界の分離が進まないのは仕方がない事です。

そして彼らが私のもとを去った後に、エジプトのファラオ達もやってきました。
エジプトのファラオ達は、以前東京で「エジプトのファラオ展」が開催されていた時に、ファラオ達が閉じ込められていた世界から、私達が解放してあげたのです。
それから、ファラオ達は、現実世界に関わる事ができるようになり、私達と共にアセンションの活動を担ってくれるようになったのです。
しかし、最近姿が見えないな、と思っていたら、どうやら「紫ピラミッド」につかまっていたようです。

「TAKESHI さん、私達を助けてくださってありがとうございます。
私達も「紫ピラミッド」の女王のもとに閉じ込められていました。
一度皆さんから解放してもらったのですが、今年の始めぐらいにまた私達は捕えられてしまいました。
そのために、私達は自由に活動する事ができなくなってしまったのです。
しかし皆さんが、女王の力を削減してくれたおかげで、彼女のもとから逃げ出すことができました。」

これで私達は自由に活動する事ができるようになりました。」

ファラオ達はとても嬉しそうにしています。

ファラオ達は、古代エジプトの時代に地球のアセンションを試みて働いていました。

その当時は多くのスターピープル達も地上に降り、古代エジプトは飛躍的な発展を遂げました。

そして、古代エジプトにおいて地球人は進化し、アセンションをやり遂げ、スターピープルの仲間入りをする予定でしたが、闇の創造主によりスターピープルと地球人の意識が混乱させられ、地球人やスターピープル達は、お互いの仲間を憎み合って争いを始めてしまいました。

そのために古代エジプトはアセンションを果たすことなく壊滅してしまったのです。

古代エジプトのファラオ達は、その当時から、地球人を進化させて、地球のアセンションを実現することを夢見ていました。

しかし、地球のアセンションを妨害する「紫ピラミッド」や闇の創造主に捕えられ、自分達の願いを果たすことができなかつたのです。

私は、ファラオ達に紫ピラミッドの女王と呼ばれる存在について尋ねてみました

「皆さんが「紫ピラミッド」の女王と呼んでいる存在について、私は詳しい事を知らないのですが教えてもらえますか。」

私が尋ねると一人のファラオが私の前に出てきて答えてくれました。

「はい、「紫ピラミッド」の女王というのは残酷で悪賢い存在です。

その本体については私達もよく分りませんが、その一部がエジプトのファラオ達の時代に降り立った事があります。

その時の彼女の一部はファラオの妻として活躍していたのですが、自分の夫であるファラオを毒殺しただけでなく、ファラオの兄弟たちも殺害して、自分が女王としての絶対な権力を持つようになったのです。

そして彼女はエジプトの近隣の諸国も戦争で打ち破り、とても大きな国を作り上げました。

彼女は独裁的なやり方で多くの人達に恐怖を与え、その国を支配していたのです。

その女王がなくなるまでその恐怖の政治と独裁的な支配は続きました。

彼女は、魔術師や薬を調合する者たちを集めて、自分が長生きするように様々な事を行ったようです。

そして彼女は闇の力を得て、通常の間人よりもはるかに長く生き延びましたが、彼女が死ぬ事によって国民達はその恐怖の支配から逃れる事になったのです。

もちろん女王が死んだ後、その後継者をめぐって多くの者達が争い、お互い殺し合いました。

そして国はいくつもの小さな国に分裂する事によってその争いは終わったのです。

しかし、彼女の本体はもっと恐ろしい力を持っています。

そして「紫ピラミッド」をとおして遠い昔から、地球全体を支配していたようです。」

私は、そのファラオに尋ねました。

「彼女も多くの者たちのスピリットを捕らえたりしていたのですか？」

「もちろんそうです。

特に彼女は皆さんが言うアセンデットマスター、つまりスターピープルとして地球に降りたち、地球人を進化させようと考えている者達や優秀なスターピープル達のスピリットを捉えています。

そしてそれだけでなく、地球に生きている人間の中でも、特に権力や財力を持った女性政治家や女性経済家、あるいは女性宗教家などと一体化して多くの人達を現実世界で支配しているのです。」

「それはとんでもない存在が隠れていたものですね。私も知りませんでした。」

「彼女が表に出る事はあまりありませんので、この事実を知る人達は、さほど多くありません。

いつも他のダークピープルや魔導師たちを裏で操って、彼女自身は表に出る事なく活躍しているのです。」
そう言うとファラオ達は、私達にお礼を言って戻って行きました

PART3 仕掛けられた罠

翌日、私達に対するサイキックアタックがさらにひどくなってきました。

どうやらあの闇の女王が魔導師達を使って、私達にサイキックアタックを行なっているようです。

私はファラオやスターピープル達を呼び出してこの女王達の攻撃になんとか立ち向かえないかと言いました。

するとファラオの一人が言いました

「TAKESHI さん、実はまだ多くのファラオ達が闇の女王に捕らえられたままなのです。

戻ってきたファラオ達に聞いてみても、実際、ファラオの全体の数からすると半分以上の者達がまだ残っているようです。

TAKESHI さんのスピリットと関係が深い「隻眼のファラオ」もまだ戻ってきていません。

どうかファラオ達を助け出してもらえませんか。」

私にとってファラオはとても大切な仲間です。

特に「隻眼のファラオ」は、私のスピリットの一部でもあります。

私は、ファラオとスターピープルに向かって言いました。

「もちろんすぐに救出に向かいましょう。

スターピープル達も準備ができていますか。」

スターピープル達は「もちろんです」と答えました。

この時のために多くのスターピープル達が集まり、ファラオ達を救出する準備は、もうすでに出来上がっているようです。

逃げ出してきたファラオは、どこに残りのファラオ達が捕らえられているか知っているはずですから、道案内をお願いすることにしました。

ファラオ達とスターピープル達が動き始めました。

創造主によって光 40%台の世界のゲートを開いてもらい、私達は紫ピラミッドの中に直接入り込みました。

「紫ピラミッド」はいつ来ても不気味なものです。

そしていろんな世界が入り組んでいますので、どの道がどこに繋がっているのか、私達には見当もつきません。

しかしファラオ達は様々な道を通り抜けながら、紫ピラミッドの奥へ奥へと進んできました。

私達とスターピープル達が一緒に歩いている姿を見て、多くのダークピープル達が驚いて逃げ隠れしています。

これだけ多くのスターピープル達が入ってくるのも彼らにとっては珍しい事です。

手出しをしようにもスターピープル達の光によって自分達が反撃されてしまうのは目に見えているので隠れてしまったようです。

私達はいくつもの道を通り抜けそしてとても闇の深い場所へと入っていました。

ここはどれも「紫ピラミッド」の女王達の専用の場所のようです。

今までよりも濃厚な闇のエネルギーが私達に襲いかかってきましたが、私達はファラオ達のいる場所を見つけることができました。

しかし不思議な事に「紫ピラミッド」の女王達が現れてきません。

通常であれば、私達が探索する事を邪魔するために、闇の魔導師やダークピープル達が攻撃してくるはずなのですが、この場所まで来ても、彼らは姿を見せない事に私達は、不安感を募らせました。

その瞬間、恵理さんの視界がパッと暗くなりました。

私達は恵理さんが見ているビジョンを使って様々な行動をしたり、スターピープル達に指示を出したりしますので恵理さんのビジョンが見えなければ、指示を出す事ができないのです。

私はフレッドやエレナさんをはじめ、スターピープルやファラオ達の名前を呼びましたが、私達の声に誰も答えてくれる人がいません。

私達とスターピープルそしてファラオ達の間につながりが完全に分断されたようです。

私は創造主達を呼び出しましたが、私の指示は暗闇の中で空虚に響きます。

いつも私達を見守り助けてくれるはずの創造主も私達の声には答える事はできないようです。

これはもしかしたら「紫ピラミッド」の女王が仕掛けた罠ではないだろうか、私は考えました。

ファラオ達がすべて逃げ出すのではなく、その半分だけをわざと逃がしておけば、私達が残りのファラオ達を助けに来る事を容易に考えられます。

彼らは、そのタイミングをみはからって、私達に罠をかけたのではないかと思われれます。

そう考えれば、私達がこの場所に来る途中で「紫ピラミッド」の女王をはじめダークピープルや魔導師達が攻撃してこなかったのも納得がいきます。

私は物理世界に関わる事ができる最高次元である第8評議会の創造主を呼び出しました。

かすかに、第8評議会の創造主が答える声がします。

「第8評議会の創造主よ、この「紫ピラミッド」の中を調べてみてください。

何か強力なダークピープルか闇の創造主が、私達を罠にかけている可能性もあります。」

第8評議会の創造主は、私達が捕まっている場所にすーっと入ってきました。

そうすると第8評議会の創造主の姿も見えなくなってしまったのです。

これは、この罠を仕掛けている創造主が第8評議会の創造主よりもさらに強い力を持っているという事です。

私はすぐに第8評議会の創造主に外に出るように言いました。

すると「紫ピラミッド」の外に第8評議会の創造主の姿が見えてきました。

「第8評議会の創造主よ、これはとても危険な状態です。

第24評議会の創造主や第25評議会の創造主にすぐに連絡を取り、私達を助けに来てもらってください。」

第8評議会の創造主はうなずくと、その場から消えました。

すぐに第25評議会の創造主が、他の創造主達を伴って、私達のもとにやってきました。

「第25評議会の創造主よ、困った事になりました。

私達は捕らわれているファラオ達を助けるために「紫ピラミッド」の奥深くに入ったのですが、私達とスターピープルそしてファラオ達、現実世界を守護する創造主達の間繋がり切られてしまったようです。

私が呼びかけても誰も答えてくれません。

このままでは、「紫ピラミッド」の中に入った仲間たちが危険です。

闇の創造主がその裏で動いているかもしれませんので至急調べてもらえませんか。」

第25評議会の創造主は、各評議会の創造主を使って「紫ピラミッド」の様子を調べています。

その間、私達はスターピープル達と連絡を取るために何度も呼びかけたり、「宇宙の根源の愛」のエネルギーを呼びこもうとしましたがうまくいきません。

しばらくすると第25評議会の創造主から、私にメッセージが届きました。

「TAKESHIさん、やはり強い力を持つ創造主が「紫ピラミッド」の女王と一緒に、皆さんに罫を仕掛けていたようです。

その創造主は、私達が捕えました。

もう少ししたら皆さんを包んでいる深い闇のエネルギーも消えていくでしょう。」

私達はその言葉に安心しました。

しばらくすると闇のエネルギーが少しずつ薄れ、周りが見えるようになってきました。

私達と常に行動しているスターピープル達の姿も見えてきましたし、会話もできるようになってきました。もちろんファラオ達も無事のようにです。

私達はお互いが確認できた事をととても喜びました。

そしてこの場所にとらわれている残りのファラオ達やアセンデットマスター、スターピープル達の救出を再開することにしました。

捕らわれていたファラオやアセンデットマスターたちも、全てが闇の中に飲み込まれたことで、助けに来た私達が捕えられたのではないかと心配していたようですが、私達が無事な姿を見て安心しています。

私達が、ファラオ達の救助を再開した時、「紫ピラミッド」の女王たちが、突然現れてきました。

彼女は、「紫ピラミッド」を守っていた創造主の力が打ち破られたことに気づき、闇の魔導師たちを何人も従えて私達の救助を邪魔しようとしてきたのです。

私は創造主をお願いして、私達を闇の中に閉じ込めた創造主の力が、彼女の中に残っていないかどうか調べてもらいました。

やはり「紫ピラミッド」の女王は、この創造主の力も持っていたようです。

第25評議会の創造主は「紫ピラミッド」の女王の中から、まだ残されていた創造主の力を抜き取りました。

そし「紫ピラミッド」を支えていた創造主も捕えて、自分達のもとに連れて行きました。
「紫ピラミッド」の女王は自分から一瞬にして創造主の力が抜けていく事を感じたようです。
その場に座り込んでしまいました。
そしてがっくりとうなだれて私達の元から消えていきました。

私達はファラオ達やアセンデットマスターも助け、この「紫ピラミッド」の中から出てきました。
「紫ピラミッド」を守り、私達を深い闇の中に落とした闇の創造主は、やはり「多彩な能力を持つ創造主」
によって作られた創造主だったようです。
この創造主は「紫ピラミッド」だけでなく、光 40%や光 30%台の闇の力を生み出していた創造主でした。
そして闇の働きをする存在達に力を与え守っていたようです。

この「紫ピラミッド」の女王と闇の創造主がひとつになる事によって、紫ピラミッドの大きな力は作り出されてきたようです。

最初、私達は「紫ピラミッド」の力はブラックピープルから与えられていると思っていました。
ブラックピープルは闇の力を求める者達に闇の力を与える事ができます。
しかし、ブラックピープルはホワイトピープルとひとつになって光と闇のバランスを取るのもブラックピープルの力が行き過ぎた時には、ホワイトピープルがその闇の力を光に変換しバランスをとっていたのですが、この地球の「紫ピラミッド」に関しては、ホワイトピープルはブラックピープルの力を光に変換する事ができませんでした。

私はホワイトピープルを呼び出して言いました。
「ホワイトピープルよ、この「紫ピラミッド」の力はブラックピープルだけでなく、このようなとてつもなく大きな力を持った闇の創造主によって作られていたという事がわかりました。」
ホワイトピープルも頷きながら言いました。

「通常であればブラックピープルの力は、私達が光に変換する事が出来るのですが、この地球の「紫ピラミッド」がもつ闇の力に関しては、それができない事を不思議に思っていたのです。
しかしながら、このような力の強い創造主が関わっていれば、私達の力などあってもなくても同じようなものです。

私達はもうこの「紫ピラミッド」から手を引こうかと思っています。
ブラックピープルにしてみても、自分が与えていたと思っていた力など比べ物にならないくらい大きな闇の力が関わっていた事を知って、自分の役割は終わったと考えているかもしれません。」

第 25 評議会の創造主によって「紫ピラミッド」を守護していた「多彩な能力を持つ創造主」の分身と光 30%及び 40%台の闇を生み出していた創造主の 2 人の創造主が光に返されました。

「紫ピラミッド」の女王は、自分の後ろ盾となっていた大きな力を失ってしまったのです。
しかし彼らはまだ光 40%台の世界では、圧倒的な力を持っています。
それはその力を必要としている地球人がいる限り彼らの支配は終わる事がないでしょう。

第8章 「多彩な能力を持つ創造主」の復活

PART1 現実生活に押し寄せるサイキックアタック

創造主達の手助けのおかげで、「紫ピラミッド」の女王による罠を何とかかいくぐり、紫ピラミッドと光40%代の闇を生み続けていた創造主を光に返すことができました。

この創造主は「多彩な能力を持つ創造主」によって新しく作られた創造主でした。

前回、美輝が熱を出した時に、「多彩な能力を持つ創造主」によって作られた5人の創造主を探し出し光に返しましたが、今回見つけた創造主は彼らよりもさらに力が強い創造主でした。

常に自らが作り出した闇の中に隠れ、その姿を現すことなく「紫ピラミッド」の女王や闇の力を持つ存在達を生み出し、援護していた存在です。

このような創造主が光40%台の世界の裏側に隠れていたのでは、この世界を統治する創造主も大変な苦労に見舞われることになったでしょう。

私達はこの創造主を光に返すことによって、光40%台の世界だけでなく、私達がこれから行く光50%台の世界も守ることができたと言えます。

しかしながら紫ピラミッドの反撃や「多彩な能力を持つ創造主」の残した罠はまだまだ私達を苦しめます。彼らは単にスピリチュアルな世界だけでなく現実世界にもその牙を向けてきました。

私が経営するリラクゼーションサロンにも彼らと関わりのある人を送り込み、会社での人間関係やあるいは経営を著しく妨害するようなことも起きてきました。

特にそのような人が入った一つの店舗では、売上が急激に落ち大きな赤字になってしまい、私達の会社に大きなダメージを与えることになりました。

また、そのような人達は、私達の生命力も奪っていきますので、私やスタッフが体調不良に見舞われます。実際私も、疲れやすくなり、夏に痛めた右手がなかなかよくなりません。

その様な人のエネルギーを調べると、面接のときは隠されていたのですが、やはり力を持ったダークピープルや現実世界に大きな影響力を持っている創造主と繋がっており、その人を通して、闇の存在達が私の会社にダメージを与え、アセンションを妨害していたのです。

しかし、現実世界は労務関係などがしっかりと規定されていますので、スピリチュアルの世界のようにすぐにその人を分離したりすることはできません。

できることと言ったら、ある一定の期間、給与を支払って自宅待機をしてもらい、会社に出てこないようにしてもらうことくらいです。

11月に入ってからはそのようにスピリチュアルなレベルと現実的なレベルで私達はとても苦しい思いを強いられていました。

私の会社は、私がアセンションの活動に本格的に関わり始めてから様々な妨害が入るようになりました。

それまではとても順当で大きな利益を生み出していたのですが、アセンションの活動を始めると、優秀なスタッフがやめたり、新しいスタッフが入社しても、私達が技術を教え終わると急に辞めたりして、私達の労力と経費ばかりが湯水のように流れ出していきます。

また今までのようにお客さんもたくさん来なくなり、いつも赤字を抱えながらなんとか運営している状態になってしまいました。

そのような中で、私達は毎日のように起こってくるサイキックアタックや不可思議な現象を、創造主やスターピープル達と解決しながら進んでいきました。

PART2 復活していた「多彩な能力を持つ創造主」

11月15日から「神聖なる宇宙の光」と呼ばれる新しいアチューメントが始まりました。

これは、地球人をアセンションに導くためのスターピープル達によるアチューメントです。

このアチューメントを受ける人は、スターピープルとも深くつながり、自分のスピリットの導きに従い、自分の求める世界に進むこととなります。

今までよりも、光の世界に向かう人が増えていけば、新しいアセンションした世界が、私達の前に開かれる時も、早くなることでしょう。

私達は、期待に胸を膨らませながら、毎日このアチューメントを行う事になりました。

11月18日、恵理さんがとても大きな光の波動を感じたのか、私にこのように言いました。

「TAKESHIさん、先ほどからとても大きなエネルギーがこの物理世界に降りてきているようです。

もしかしたら第26評議会の創造主が動き出したのかもしれない。

この光は全てを覆うようにとても強いエネルギーを持っています。

今までの創造主とは、桁違いの強いエネルギーなので私も頭がクラクラしています。」

私達はすぐに第25評議会の創造主と第26評議会の創造主を呼び出しました。

「偉大なる創造主達よ、今恵理さんがとても強いエネルギーを感じたのですが、一体何が起きているのですか、教えてください。」

第26評議会の創造主が答えました。

「私達は「多彩な能力を持つ創造主」が、この物理世界に残したエネルギーをクリアリングしています。

彼は創造主でありながらも、様々な物理世界の人達やダークピープル達を利用して、物理世界の隅々にまでそのエネルギーを広げていました。

私達はそのエネルギーを今クリアリングしているのです。」

私達は第26評議会の創造主が「多彩な能力を持つ創造主」のエネルギーをクリアリングしてくれていることにとても喜びを覚えました。

これでアセンションを妨害する者はいなくなり、ようやくアセンションの仕事を進めることができるようになったからです。

しかしながらこの第 26 評議会の創造主が、光を送っている最中に第 26 評議会の創造主の光とは異質の光を恵理さんは感じるようになりました。

そのエネルギーは、第 26 評議会の創造主の光を遮り、彼女の体にとっても重たい衝撃を与えてきます。

私は第 26 評議会の創造主に尋ねました

「あなたのエネルギーに混じって、とても重苦しくとても気持ちの悪いエネルギーが入ってくるのですがこれは一体どういうことですか。」

第 26 評議会の創造主は言いました

「それがどこから来ているのかどうか探し出してください。」

私は不審に思いながらも、スターピープル達を呼び出して、時折入ってくるこの重たい闇のエネルギーを探索することにしました。

そうするとそこに繋がっていたのはダークピープル達の集合意識のようです。

ダークピープル達は、自分達に与えられていた闇の創造主の能力を削減されて力を弱めていますので、一つになって、私たちにサイキックアタックを行っているようです。

私達は、いままで度重なるサイキックアタックを受けてきたので、創造主達と相談して地球のルールをいくつか変えました。

今までは、地球の人々やダークピープル達が、闇の創造主によって与えられた力を保持し使うことを認められていましたが、新しいルールで、それも禁止することにしたのです。

また、ダークピープル達は、地球に生きる人たちの意識や潜在意識を利用して他の人達を攻撃していたのですが、そのことも禁止になりました。

そして、たとえ家族や親しい仲間であったとしても、光の世界に行く人達の歩みを妨害してはいけないというルールも作りました。

今までの地球や天の川銀河のルールは、闇の創造主達が作り出したルールも多く、創造主や高次のスターピープルのスピリットをもって地球に生まれてきた人達はその犠牲者となり、自分達の役目を果たすことなく終わっていました。

そして、闇の多い地球では、ダークピープル達や闇の創造主が、地球の人達の潜在意識や感情を利用して、光を多くもった人達に対してサイキックアタックを行い、その人達が精神的な進化を遂げ、アセンションしていくことを妨害していたのです。

この天の川銀河におけるルール変更によって、ダークピープル達は、今までのように人々の感情や潜在意識を使って私達に攻撃することができにくくなってきたために、ダークピープル達が集まって、自分達のエネルギーをひとつにして私達を攻撃してきたようです。

私達はすぐに創造主に報告しました。

「ダークピープルたちが集団となって私達にネガティブなエネルギーを送っているようです。

しかし、第 26 評議会の創造主の光を遮ることができるというのは、その裏に闇の創造主が隠れている可能性があります。」

私達はさらにダークピープル達の後ろに何か隠された存在がいないかどうかを探すことにしました。しばらく探索を続けていると、このダークピープル達の後ろに大きな闇の創造主の姿が見えてきました。その姿を見た恵理さんの表情がこわばってきます。私は何が見えたのか、いったいダークピープル達の後ろに誰がいるのかと恵理さんに尋ねました。「まさか「多彩な能力を持つ創造主」が復活していたなんて、」と恵理さんは答えました。

すると「多彩な能力を持つ創造主」の声が私達の心の中に響いてきました。「私が、簡単に光に帰るとお前たちは思っていたのか、私はそれほど力のない存在ではない。私はこの宇宙を、全てこの手に握るぐらいの力を持っているのだ。この宇宙の創造主など取るに足らない存在だということをこれから思い知らせてやろう。お前たちも私に従えば、私と一緒にこの地上を支配できるぞ。」

「多彩な能力を持つ創造主」は今までの創造主とは、全く比べ物にならないほど能力が高くパワフルな創造主です。そして私がつながる創造主をはじめ、私達の宇宙の創造主の多くが彼の遺伝子を使って生みだされた創造主ですので、第25評議会以下の創造主達は、誰も彼に逆らうことなどできません。彼が私の心の中に入り込むことなどとても簡単なようです。

私はすぐに第26評議会の創造主に助けを求めました。「「多彩な能力を持つ創造主」が復活しているようです。すぐに捕えてください。」第26評議会の創造主達が、私達が見ているビジョンを通して「多彩な能力を持つ創造主」のもとに行き、すぐに彼を捕まえたようです。

第25評議会の創造主が安心したような表情で答えました。「TAKESHIさん、やはり私達の考えていた通りでした。「多彩な能力を持つ創造主」があのように簡単に捕らえられて、光に帰されるはずはないと私達は考えていたのです。しかしながら、どうしても「多彩な能力を持つ創造主」を見つけることができませんでした。彼は様々な分身や新しく作った創造主達を使って、皆さんの宇宙を支配しようとしていました。そして自分は、その裏に隠れていたようです。第26評議会の創造主は、彼を見つけるためにわざと自分の光をこの物理世界におろし、その光を遮るものを探していたのです。第26評議会の創造主の光を遮ることができるのは「多彩な能力を持つ創造主」ただ1人です。ですから恵理さんを通して彼を探そうとしていたのです。」

第26評議会の創造主は、「多彩な能力を持つ創造主」を捕まえるとすぐに自分の元に取り込んでいきました。本来であれば「多彩な能力を持つ創造主」を生み出した第25評議会の創造主がそれを行うべきだったのですが、もしかしたら彼はもうすでに第25評議会の創造主の力を超えているのかもしれない。第25評議会の創造主では、收拾がつかないと考えた第26評議会の創造主が「多彩な能力を持つ創造主」を捕まえることを自ら決めたようです。

しかし私達も「多彩な能力を持つ創造主」が復活していた事には驚かされました。いえ、心の中ではきっと彼は必ず復活して私達にもっと熾烈な攻撃を仕掛けてくると心の中ではわかっていました。そして最近、現実世界で起こっている様々なトラブルや私達の体調不良や会社に対する経済的なダメージも、おそらくこの「多彩な能力を持つ創造主」が裏で仕掛けていたことでしょう。

この地球の物理世界に生きる私達の弱みが何であるか、彼は十分に知っています。そしてそのことを、ダークピープルや闇の創造主を使って行っていたのでしょう。

しばらくして第 25 評議会の創造主がやってきました。

「TAKESHI さん、「多彩な能力を持つ創造主」が行っていた事がいくつかわかってきました。そのひとつに彼は様々な場所と時間に、自分が自由に行き来できるようなゲートを既に作っていたようです。私達の宇宙の平行ワールドにもそのゲートは開かれていました。そのために彼はどこかで光に帰されたとしても、宇宙の異なる時間や世界で復活し、私達に何度も関わられるような仕組みを作っていたようです。今私達と第 26 評議会の創造主及び「時間に関わる創造主」達で、そのポータル場所を探し求めています。そしてそれを全て取り除いていかなければ、いくら私達が「多彩な能力を持つ創造主」を光に返したところで、彼は何度も何度も復活してくるのです。」

「他に彼はどのようなことを行っていたのですか。」
「それも今はまだ調べている途中です。またわかったらすぐにお知らせします。」
そう言って第 25 評議会の創造主は消えていきました。

PART3 私の存在していた「多彩な能力を持つ創造主」

その翌日、第 26 評議会の創造主が私の前に現れました。
「TAKESHI さん実は大変なことがわかりました。実は TAKESHI さんのスピリットと魂の中に「多彩な能力を持つ創造主」は自分の一部をすでに入れ込んでいたということがわかったのです。それも、TAKESHI さんが地球人として、この地球に降りた時に行ったようです。」

「それは遺伝子レベルで彼の遺伝子が入っていたという事とは異なるのですか。」
「そうです遺伝子レベルではなく、「多彩な能力を持つ創造主」の実態が一部 TAKESHI さんの中に組み込まれていたのです。」
私は、「多彩な能力を持つ創造主」一部が組み込まれていたという事がよく理解できませんでした。

「それは一体どういうことなのですか。」
私は、「多彩な能力を持つ創造主」と長い間関わってきたという事ですか、

それとも「多彩な能力を持つ創造主」に支配されてきたという事ですか。」私は、パニックになりそうでした。

「それは、TAKESHI さんが自分の意思に関りなく、「多彩な能力を持つ創造主」の影響を受けているということなのです。

そして彼は、TAKESHI さんを通じて光の創造主や大天使、スターピープル達の動きを全て知ることができたのです。

そのために第 25 評議会の創造主はいつも裏をかかれ、「多彩な能力を持つ創造主」の本体を捕まえることができなかったのです。」

「それは大変なことになっていたのですね。

そのことが分からなければ私達のアセンションは一体どうなっていたのですか。」

「おそらく簡単にひっくり返されると思います。

彼が本気でかかれば皆さんの宇宙の創造主など簡単にその動きは封じられてしまいます。

そればかりか TAKESHI さんが持つ物理世界でゲートを利用して、彼は様々な世界に行き、自分自身がその世界を支配するように仕組んでいたようです。」

私は、私自身のせいで大変な事態が引き起こされそうになっていた事にため息が出そうになります。

「しかし、「多彩な能力を持つ創造主」の一部が私の中にあることが判ったので、問題はすぐに解決するでしょう。」

「いえ、その危険性はなくなったわけではありません。」と第 26 評議会の創造主が答えました。

私は、第 26 評議会の創造主の言葉が気になって尋ねました。

「それはどういう意味ですか。」

「TAKESHI さんのスピリットや魂の中に、「多彩な能力を持つ創造主」の一部が入り込んでいるという事は分かりましたが、まだ分離することが出来ないのです。

その分離が完全に終わらない限り、TAKESHI さんが彼に取り込まれてしまう可能性があるのです。」

私は、一瞬いったい何が自分の中で起きているのだろうか、と思いました。

「確かに、私の心の中に「多彩な能力を持つ創造主」が、自分と統合するように話しかけてきましたが、いまでもそれは続いているのですか。

彼の一部を私からすぐに分離することはできないのですか？」

「そうです。

いま TAKESHI さんのスピリットレベルでそのことが行われています。

TAKESHI さんのなかの愛のスピリットや天使のスピリットはすぐに、「多彩な能力を持つ創造主」を分離するように求めているのですが、やはり彼の能力に魅力を感じているスピリットもいるために TAKESHI さんから簡単に「多彩な能力を持つ創造主」の一部を引き離すことが出来ないのです。」

私のスピリット達の間で、かなりやばいレベルの葛藤が起こっているようです。

「私のスピリットから「多彩な能力を持つ創造主」の一部を分離できなければどうなるのですか。」

第 26 評議会の創造主は少し考え込んでいるようです。

「もし、TAKESHI さんの中から、「多彩な能力を持つ創造主」の一部を分離できず、反対に彼に統合されてしまったならば、TAKESHI さんごとすぐに「多彩な能力を持つ創造主」を光に返さなければなりません。彼が TAKESHI さんとひとつになったら、物理世界でも強大な力を持つことになりますので、この宇宙が支配されるのは時間の問題です。

勿論、皆さんの宇宙のアセンションなどいとも簡単に崩されてしまいます。

そうなる前に、TAKESHI さんともども光に帰ってもらいます。」

「それはないだろう！」と私は心の中で叫びました。

今迄、闇の創造主やダークピープルと人間が一体化した時に、地上の人間と一体化した事で、闇の創造主を光に返すことが出来ない、とさんざん言っていたのに、私と「多彩な能力を持つ創造主」が一体化したら、私ごと光に返すというのは、とても理不尽のような気がしました。

つまり、私は死んでしまうという事なのですから。

第 26 評議会の創造主は続けていいました。

「「多彩な能力を持つ創造主」は TAKESHI さんだけでなく、この地球に降り立った創造主のスピリットを持つ者達全員に自分の一部を入れ込んでいたようです。

創造主のスピリットを持って、この地球に降りたった者たちの多くが、創造主としての自覚がないまま肉体を失っていきました。

この地上に降りて、創造主としての仕事をした者は、今までほとんどいませんでした。

それも「多彩な能力を持つ創造主」が、創造主として活動できないように妨害していたようです。

また反対にこの地上において創造主としての力に目覚めた者は「多彩な能力を持つ創造主」の誘惑にまけて、彼と統合した者もいます。」

「「多彩な能力を持つ創造主」と統合した者達は怎么样了ですか。」

「この地上で人間でありながら「多彩な能力を持つ創造主」の力を得た者は、強大な権力や力を持つことになります。

そして地上を支配する者達もいましたが、そのような者はやがて深い闇の中に自ら落ちていく事になります。」

「たとえば、地球の歴史の中で誰がそのような事を起こしましたか。」

「アトランティスとレムリアの戦いの時や古代エジプトの崩壊の時も起こりました。

あなたがよく知っている例では、ドイツのヒトラーもそうでしょう。

彼らは、通常の間人ではもちえない統率力や人々の心を支配する力を得て強大な権力を手に入れたのです。」

「そうですか、地球の闇の歴史は「多彩な能力を持つ創造主」によって作られていたという事ですね。

私も、自分の仕事がうまくいかない時や大変なサイキックアタックにさらされた時に、こんな目に合うくらいなら「多彩な能力を持つ創造主」とひとつになって、もっと豊かで楽な生活を送りたいと思うことがたびたびありましたが、それが「多彩な能力を持つ創造主」の誘惑なのですね。」

私がそういと第 26 評議会の創造主はうなずきました。

私は、続けて言いました。

「私達に起こっている会社のトラブルやサイキックアタックは、「多彩な能力を持つ創造主」とその部下の者達による仕業だと分かっている、それから逃れるために「多彩な能力を持つ創造主」とひとつになるという事は、理性的に見ればまったく馬鹿げたことですが、私も冷静な判断力を失ってその誘惑に乗りかけてしまいました。」

私は、今まで一緒にアセンションのために働いてきた仲間達の姿を思い浮かべました。

スターピープルのエレナさんやガジェッド、ロッド星人やフレッド、あるいはマーベリックや様々なマスター達、そして様々な光の創造主達、あるいは天の川銀河を共に守ってきたたくさんの騎士団たち。

もし、私が「多彩な能力を持つ創造主」と一つになって、彼らが一生懸命に行ってきたアセンションを一瞬のうちに破壊してしまったら、彼らはどう思うだろう。

今まで私の事や地球人を命がけで守ってくれた恩人に対してそのような事をしてしまったら、私の心はきっと深い後悔の念にさいなまれ続けることでしょう。

いえ、私が「多彩な能力を持つ創造主」と一つになったら、何の躊躇もなく大切な友人たちを殺してしまうか、深い闇の中に閉じ込めてしまうでしょう。

そしてこの宇宙は、今まで以上に闇が深い宇宙となり、光の地球に行く人達も、すべて争いと抑圧の世界の中で、再び支配され続けることになるのです。

私の中に起こってくる考えを振り払うように、私は首を大きく横に振りました。

地球人のために、自分達の命も顧みず働いてくれた友人達にそのような事ができるはずありません。

彼らの善良な気持ちや愛を踏みにじってしまえば、私は生きる意味がありません。

それに、闇にまみれた創造主達は絶対に約束を守らないし、平気で私を裏切るでしょう。

「多彩な能力を持つ創造主」も、最初は私に地上の権力を与えるとか、地球を好きなようにしてもいいとかいうかもしれません。

でもすぐに、私を裏切って、自分がやりたい事をやったら、私など何のこだわりもなく殺してしまうかもしれません。

「多彩な能力を持つ創造主」と一つになったら、第26評議会の創造主に光に返されるか、「多彩な能力を持つ創造主」に裏切られて殺されるか、どちらにしても、私の命などすぐになくなってしまふのは決まっているようです。

それに、地上の権力を与えるといわれても簡単には実現しないし、実現したとしても、これほど面倒臭いものは他にはありません。

私は意外と小心者なので、人と争う事がとても苦手です。

権力争いにはきっと負けてしまいます。

私の夢は、アセンションした世界で地球の平和大使として、宇宙船でいろんな星を訪ね、スターピープル達と仲良くすることなので「多彩な能力を持つ創造主」と統合するわけにはいきません。

私は心の中でそのような事をぶつぶつ考えていました。

そして第26評議会の創造主に言いました。

「第26評議会の創造主よ、早く私から「多彩な能力を持つ創造主」の一部を分離してください。

私は、彼に統合されるのは絶対に嫌ですが、このままだと彼の力に負けてしまうかもしれません。」

第 26 評議会の創造主は、私を見て答えました。

「TAKESHI さん、本当にありがとうございます。

私達はこれから、TAKESHI さんから「多彩な能力を持つ創造主」の一部を分離する作業に入ります。

かなり複雑に入り込んでいますので、しばらく時間がかかることでしょう。

その間十分に気を付けてください、何が起こるか分かりませんから。」

私は消え去ろうとする第 26 評議会の創造主に急いで聞きました。

「第 26 評議会の創造主よ、ちょっと待ってください。

何が起きるか、わからないとはどういうことですか。

「多彩な能力を持つ創造主」と一つになる事を拒んだ人には、何か問題が起きるのですか。

今まで、そのような人はいたのですか。」

第 26 評議会の創造主は、立ち止まり答えました。

「いえ、今まで「多彩な能力を持つ創造主」の誘いを断れたものは誰もいません。

TAKESHI さんが初めてです。

ですから気を付けてください、と言ったのです。」

第 26 評議会の創造主は言い終わると、私から「多彩な能力を持つ創造主」の一部を分離するための作業に入ったようです。

第9章 新しき愛の創造主達

PART1 「多彩な能力を持つ創造主」の報復

私の魂やスピリットから「多彩な能力を持つ創造主」の一部を抜き取る作業はかなり困難を極めたようです。それだけ「多彩な能力を持つ創造主」は入り組んだ方法を使って、私達のスピリットや魂に自分の一部を入れ込んでいたのです。

そして入れ込まれた人のスピリットが彼の力を欲しがるように様々な方法で画策を行っていました。

私の天使のスピリットや愛のスピリットは「多彩な能力を持つ創造主」の一部をすぐに分離したいと願っていたようですが、私の中にもやはり特別な力を手に入れたいと願うスピリットもいたようです。

私の中でスピリット同士の葛藤も起こり、その事がさらに、「多彩な能力を持つ創造主」の一部を抜き取る作業を困難にしてしまったのです。

しかしながら第26評議会の創造主達は、3日ほどかけて、私のスピリットと魂から「多彩な能力を持つ創造主」の一部を抜き取ることに成功したようです。

しかしながら、私達はその直後から「多彩な能力を持つ創造主」の報復を受ける事となってしまいました。私の方はさほど問題はなかったのですが、恵理さんはまるで生気をどんどん吸い取られるかの如く、体が冷えガクガクと震えています。

そして、頭痛も起こり声も出なくなってしまいました。

彼女は倒れるように寝込むと、今回のサイキックアタックの強烈さに必死で耐えています。

私がこの原因を探るために、恵理さんに創造主やスターピープルにつながってもらおうと思っても、いつものように簡単につながることができません。

恵理さんが必死で見てくれたいくつかのビジョンを元にその原因を探らそうとしました。

そうすると物理的な世界で繋がっている人を通して、非常に気味の悪いまるで死神のような闇の女神が恵理さんから生気を奪い取っているのが見えてきました。

そしてその死神のような女神の後ろには、私達の宿敵とも言える「煌めきの創造主」と呼ばれる存在がいたのです。

この「煌めきの創造主」というのは、恵理さんの物理世界での活動を支える創造主である「輝きの創造主」の宿敵とも言える創造主です。

「輝きの創造主」は、常にその人が内面から輝く事、元気でそしてパワフルに生きることをサポートします。しかしながら「煌めきの創造主」は、その人が一瞬華やかになる事、人を惹きつけそして人を利用するということを得意とする創造主です。

「煌めきの創造主」は常に「輝きの創造主」を敵対視して、「輝きの創造主」に繋がる人達の人生を邪魔してきました。

私達も今までに「煌めきの創造主」によって活動を妨害され、さんざん苦しめられてきました。

「煌めきの創造主」はそのような邪悪な行為を行ったために、光に帰されたのですが、「多彩な能力を持つ創造主」によって復活させられ、宿敵である恵理さんと私達の活動を再び妨害をしてきたのです。そして今回は、この死神のような女神を使って、恵理さんの生気を吸い尽くそうとしているようです。

恵理さんの体には、真っ黒い水晶のようなものが何本も突き刺さっている様子が見えます。そこから恵理さんの生命エネルギーや光、輝き、愛の力というものが吸い取られています。恵理さんは耐え難い痛みを受けて、生命力がどんどん低下していつているために、大天使やスターピープル達とも繋がる事が出来ずに苦しんでいます。

私はスターピープル達を呼び出して、この死神のような女神を何とか処理しようと思いましたが、この女神と共に強い力を持ったダークエンジェルやダークピープル達が私達に襲いかかってきているために、大天使やスターピープル達も私達を助け出すことが出来ない状態です。

私は創造主に助けを求めましたが、創造主の世界もとても混乱しているようです。

私は第1評議会の創造主のリーダーである「虹彩の創造主」を呼び出しました。

「虹彩の創造主」よ、一体どうしたのですか。
創造主達の統制は取れているのですか。」と私は尋ねました。

すると「虹彩の創造主」はこのように言いました

「TAKESHIさん、実は大変な事が起きているのです。
私達も、今までの世界と分離されてしまい、創造主達の指揮系統が全く乱れてしまいました。
上の創造主とも連絡が取れず、私達も一体どうしたのかと困っているところです。」

私はその言葉を聞いて「また、やられてしまった。」と思いました。

「多彩な能力を持つ創造主」は私達の宇宙の創造主や宇宙の仕組みを知り尽くしています。
私達の宇宙の創造主の多くが彼の遺伝子を使って作られていますので、私達の宇宙の創造主を混乱させることなど、彼にとってはあまりにも簡単すぎる事です。
私達は彼によって混乱させられた創造主達を統制する事さえも今はできない状態です。

私は第26評議会の創造主を呼び出しましたが、恵理さんはもうすでにビジョンを見る力も創造主の声を私に伝える力もなくなっているようです。

時間を追うごとに彼女の体温も高くなり39度を超えてきました。

いまはもうぐったりとして横になっています。

これが「多彩な能力を持つ創造主」が私達に行った報復の始まりでした。

私達はまず私達とコンタクトがとれる創造主やスターピープル達を探しました。

第3評議会までの創造主とは、なんとかコンタクトが取れるようですが、それから上の創造主に関しては全くコンタクトが取れません。

スターピープルもそのほとんどが私達とコンタクトが取れなくなっています。

おそらく創造主やスターピープル達には、一瞬にして私達が彼らの前から消えてしまったように見えている事でしょう

彼らも私達が一体どうしたのか、どこに行ったのかと探しているに違いありません

私はふと思いついて、「愛で統一された宇宙」の創造主を呼び出しました。

「愛で統一された宇宙」の創造主達は、現在第1評議会から第3評議会の創造主との間に深いつながりを持っていますので、もしかしたら「愛で統一された宇宙」の創造主とコンタクトを取れるかもしれません。

「愛で統一された宇宙」の創造主を呼び出すと、ようやく1人の創造主が出てきました。

「一体私達の宇宙はどうなったのですか。

私達の宇宙の創造主達が今どのような状態なのか、あなたがたの目にはどのように写っているのか、教えてもらえませんか。」と私は「愛で統一された宇宙」の創造主に尋ねました。

「TAKESHIさん、皆さんの宇宙の創造主はとても指揮系統が乱れて混乱しています。

というのも第3評議会から上の創造主とコンタクトが取れないようです。

そして皆さんは本来存在している場所とは、異なる場所にいるようです。」

「そうですか、わかりました。

皆さんを通じて、第26評議会の創造主とコンタクトがとれるよう取り計らってもらえませんか。」

「わかりました。

できる限りやってみたいと思います。」

ただ「愛で統一された宇宙」の創造主とも声が途切れ途切れになる事から、彼女達ともしっかりと繋がれていないことは確かなようです。

この状況では第26評議会の創造主ともうまくコンタクトが取れないかもしれません。

PART2 愛の創造主の光

やはり私が思っているように、私達は第26評議会の創造主とはコンタクトが取れないようです。

しかしながら、恵理さんが意識を集中すると、第26評議会の創造主が「多彩な能力を持つ創造主」と何か言い争っているような様子が見えてきました。

「多彩な能力を持つ創造主」は第26評議会の創造主に向かってこのこのように言っているようです。

「どうですか、私がこの宇宙で一番素晴らしい創造主だという事がわかりましたか。

あなたの宇宙の創造主は、誰も私には勝てないのです。

そのことを認めてください。」

第26評議会の創造主も大変困っているようです。

確かに「多彩な能力を持つ創造主」の力を超える創造主は、私達の宇宙にはいないようです。

「多彩な能力を持つ創造主」を作り出した第25評議会の創造主さえも「多彩な能力を持つ創造主」の力を抑えことができませんでした。

彼は、私達の宇宙の創造主に対する憎しみをバネに、その力を大きく伸ばしていったようです。

そして「多彩な能力を持つ創造主」は、たとえ光に返されたとしても様々な時代や場所から復活するように仕組んでいるようです。

彼はたとえ光に返されたとしても、何度も何度も復活して、私達や私達の創造主に対して攻撃を仕掛けてきます。

このことに対して第26評議会の創造主は、これ以上の被害を出すことは賢明な事ではないと考えているようです。

「多彩な能力を持つ創造主」が第26評議会の創造主に向かってこのように言っています。

「あなた方が私の事を、この宇宙で最高の創造主だと認めるならば、私は譲歩してもいいのですよ。」

「多彩な能力を持つ創造主」が何を譲歩するのか、私には分かりませんが、彼はとても強気で第26評議会の創造主に迫っているようです。

そこで第26評議会の創造主の映像が途絶えてしまいました。

私は「多彩な能力を持つ創造主」を抑えるためにはどうしたらよいのか考えました。

その時気づいたのが、私達の宇宙の創造主の中でも、愛の創造主と守護の創造主には、「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子があまり含まれていない、という事と彼は愛に欠ける存在であるということです。

そのために「多彩な能力を持つ創造主」は、すぐに愛の系列の創造主と守護の系列の創造主に対して、自分が操りやすいようにネガティブコードを入れてコントロールしようとしていました。

となれば「多彩な能力を持つ創造主」の弱点は愛であるという事が私にわかりました。

私は、私達の宇宙の創造主がひとつになって愛の力を「多彩な能力を持つ創造主」に向けることができれば、私達の宇宙を守るのではないかと考えたのです。

私は、第1から第3評議会の創造主だけでなく、全ての評議会の創造主に向かって語りかけました。

「私達の宇宙の創造主たちよ、

私達は今、「多彩な能力を持つ創造主」によって大変な危機に陥っています。

彼は私達の宇宙を支配するために、私達の宇宙の創造主を利用し取り込もうとしています。

私達は今ひとつになってこの「多彩な能力を持つ創造主」に対抗しなければなりません。

そうしなければ、私達の宇宙は彼の手に移るでしょう。

私達が「多彩な能力を持つ創造主」に対抗できる手段は唯一「愛」しかありません。

それも一人一人の創造主の愛ではなく、全ての創造主がひとつになってより強大な愛の力を作り上げなければならぬのです。

どうか全ての創造主よ、協力してください。

私達の力を一つに統合して、愛そのものとなし、それによって私達の宇宙を守るのです。

では始めましょう。

全ての創造主よ、最大限の愛の光を放ってください。

全ての創造主がひとつになれば必ず私達の宇宙を守ることができます。」

私はそのように言いました。

残念なことに、恵理さんがビジョンを見る事ができないので、実際にすべての創造主に伝わったのか、あるいは全ての創造主と一緒に協力して愛の光を送る事ができたのか、今の私には分かりません。

しかし私達は祈らずにはいられないのです。

愛の力を持って祈る事しか「多彩な能力を持つ創造主」に対抗するすべはないようです。

私が創造主達に呼びかけている間にも、恵理さんの体調はさらに悪くなってきました。

布団の中にうずくまって寒さに震えています。

私も恵理さんの横に座り、恵理さんを元気にしてくれるよう祈りました。

「今苦しみの中で必死に耐えている恵理さんを、誰か助けてあげてください。」

私は、恵理さんを生み出した「愛で統一された宇宙」の創造主をお願いする事にしました。

「「愛で統一された宇宙」の創造主達よ、皆さんの中で「多彩な能力を持つ創造主」から私達を守るほどの愛の力を持った創造主はいませんか。

もしいたらどうか私達を助けてください。

恵理さんを「多彩な能力を持つ創造主」とその仲間達の攻撃から守ってください。」

私がそう祈ると、1人の輝くばかりの創造主が私達の前に降り立ってきました。

彼女は何も言わず優しい愛の光で恵理さんを包んでくれます。

「偉大なる愛の創造主よ、どうもありがとうございます。

あなたの愛の光で「多彩な能力を持つ創造主」の力を抑えてください。

彼の力が暴走すると、私達の宇宙は破滅的な被害を受けてしまう事でしょう。」

愛の創造主はこのように語りました。

「私達も皆さんの宇宙の様子を見て、とても残念に思います。

皆さんは自分達の宇宙を進化させ、アセンションさせるために一生懸命働いてきました。

私達も皆さんの宇宙がアセンションし、さらに愛と叡智の光に満たされる事を期待してお手伝いしているのです。

しかしながら「多彩な能力を持つ創造主」が行った事は、創造主として許されるべき事ではありません。

私達も皆さんの宇宙を守るためにお手伝いしたいと思います。」

「偉大なる愛の創造主よ、私達を助けてくださり本当にありがとうございます。

「多彩な能力を持つ創造主」は、私が彼と一つに統合する事を拒んだために、私達の宇宙に対してとても大きな報復を行ってきたようです。

どうか皆さんの力で私達と私達の宇宙を守ってください。」

もう私は泣きそうなくらい辛い思いがしています。

「多彩な能力を持つ創造主」の報復がさらにひどくなれば、恵理さんの命さえも危ないかもしれません。

PART3 奪われた愛のスピリット

私達は祈りながらその夜を過ごしました。

翌日になっても、恵理さんの体調はまだ変わりません。

私はふと思いました、私達のスピリットは一体大丈夫だろうか。

これだけ生命力を奪われてしまえば、私達のスピリットにも問題が起きているかもしれない。

私はコンタクトができる数少ない創造主やスターピープルに尋ねました。

「私達のスピリットは大丈夫ですか。

私達の家族に何か問題が起きていないかすぐに調べてください。」

スターピープル達は私達のスピリットの状態を調べてくれました。

「TAKESHI さん、恵理さんの一番大切な愛のスピリットが見当たりません。

もしかしたら恵理さんの愛のスピリットは、どこかに囚われているかもしれません。」

私はやはりそのようなことが起きていたのかと思いました。

「煌めきの創造主」にとって一番の宿敵である「輝きの創造主」は愛の系列の創造主ですから、恵理さんと「輝きの創造主」の繋がりを断つためには、恵理さんの愛のスピリットを奪えばいいのです。

私はスターピープルや創造主にお願いしました。

「どうかすぐに恵理さんの愛のスピリットを見つけ出してください。

恵理さんから愛のスピリットが奪われてしまえば、彼女が創造主やスターピープルに繋がろうと思っても、繋がらないのです。」

「愛で統一された宇宙」の創造主とその宇宙のスターピープルそして私達の宇宙のスターピープル達が大急ぎで恵理さんのスピリットを探しに行きました。

光 40%台の世界を統治する「闇の創造主を統治する創造主」とも連絡が取れましたので、私はこの創造主にも恵理さんのスピリットを探してもらうようにお願いしました。

するとしばらくしてスターピープル達が戻ってきました。

恵理さんのスピリットが見つかったようです。

黄泉の世界にそのスピリットは投げ捨てられており、黄泉の世界の住人達が恵理さんのスピリットにたかって光を奪っていました。

それはとても悲惨な光景です。

すぐに恵理さんのスピリットを回収するようにスターピープル達にお願いしました。

おそらく、あの死神のような女神が恵理さんの精気を奪うために、ブラッククリスタルを彼女の体にたくさん打ち込んで、彼女の愛のスピリットや大切なエネルギーを奪い取って行ったのでしょう。

スターピープル達が、恵理さんの愛のスピリットをもって戻ってきてくれました。

恵理さんの愛のスピリットが戻ってくると、恵理さんの顔に少し血の気が戻ってきました。

そして愛のスピリットが戻ってくる事によって、また創造主やスターピープル達と少し話ができるようになってきたのです。

私は第 1 評議会の創造主のリーダーである「虹彩の創造主」に尋ねました。

「「虹彩の創造主」よ、私は昨夜、創造主達がひとつになって愛の力を統合し、「多彩な能力を持つ創造主」に対抗するようにお願いしましたが、それはどうなりましたか。」

「虹彩の創造主」は困った顔をしていました。

「私達は全ての創造主に呼びかけて、私達の愛の力を発揮しようとしたのですが、その活動に異議を唱える創造主がいて、結局まとまらずに十分に実行することができませんでした。」

私は少なからずショックを覚えました。

創造主達からは、「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を抜き取り、彼の意識と同調しないようにしてあったのに、まだ「多彩な能力を持つ創造主」の味方をする創造主がいるようです。

私は「虹彩の創造主」に尋ねました。

「その異議を唱えた創造主というのは、どの系列の創造主ですか。」

「時間に関わる創造主達です。」

彼らはそのようなことをすべきではないと言い放ち、愛の光を送ろうとしていた創造主達の力を抑えようとしたために、創造主の間で混乱が起きてしまいました。

その為に、創造主達がひとつにまとまって愛の力を送ることができなかつたのです。」

「それは第1評議会だけですか、他の評議会にも同じような事が起きているのですか。」と私は尋ねました。

「おそらく第1評議会だけでなく、第2、第3評議会も同じような状態ではないかと思われます。」

それから上の評議会に関しては見当もつきません。」

「虹彩の創造主」は残念そうに答えました。

やはり「多彩な能力を持つ創造主」は私達の先手を取っていたようです。

私が彼の弱点は「愛の光」であると見抜くことをわかっていて、創造主達がひとつになって「多彩な能力を持つ創造主」に愛の光を送らないように、「時間に関わる創造主」達に指示を出していたようです。

私達はまた、彼に私達の活動を妨害されてしまいました。

しかしながら時間と共に、「愛で統一された宇宙」の創造主達の力によって、「多彩な能力を持つ創造主」の力も弱まってきたようです。

恵理さんが愛のスピリットを取り戻し、死神のような女神が撃ち込んだ黒い水晶を抜き取った事によって、私達はようやく第26評議会の創造主とつながることができました。

PART4 敗北、そして未来

私達と連絡が取れたことで、第26評議会の創造主も安心したようです。

もしかしたら、私たちの生命に危険が及んだのではないかと心配していたようです。

私は、さっそく創造主に尋ねました。

「第26評議会の創造主よ、一体昨夜は何が起きたのですか。」

私達は恵理さんが生命力を奪われ、高熱を出して寝込んでしまったために、一体何が起きたのかわからないのです。

ただ私達の生命力も恵理さんの愛のスピリットも奪われ、私たちは大変危険な状態でした。

そして第1から第3評議会の創造主が上の創造主と繋がれなくなっていました。

私達は、いつもと異なる世界に連れ去られ、全てが混乱してしまいました。

「愛で統一された宇宙」の創造主のおかげで、恵理さんの愛のスピリットを取り戻して、あなたとコンタクトができるようになりましたが、あなたと「多彩な能力を持つ創造主」の間に何が起きたのですか。」

第 26 評議会の創造主は、大きなため息をついて言いました。

「TAKESHI さんたちが無事で良かったです。

私達もこのままでは「多彩な能力を持つ創造主」が簡単に引き下がらないだろうと思い用心をしていたのですが、あっという間に皆さん達が別次元へと運ばれてしまいました。

「多彩な能力を持つ創造主」は恵理さんに、死神のような女神を送り込み、恵理さんの生命力や能力を奪い去って、あなた方を何が起きているかわからない状態にしたのです。」

「私達もあの女神と関わってから、全てがおかしくなったような気がします。」

「そして皆さんが、生命力が奪われた事に気をとられている間に、別のパラレルワールドをあなた方と第 3 評議会までの創造主の世界に取り付けました。

そして、瞬時にしてあなたがたと第 3 評議会までの創造主を移動させてしまったのです。

そのために、あなた方は第 3 評議会までの創造主とはかろうじて話が出来たとしても、それ以上の創造主とはコンタクトが取れない状態になってしまいました。」

第 26 評議会の創造主はさらに続けて話してくれました。

「私達も皆さんがどこに運ばれたのか一生懸命探しましたが、その行方が分からずに困っていました。

そのような時「愛で統一された宇宙」の創造主が、あなたがたが閉じ込められている場所を教えてくれて私達はようやく救出することができたのです。」

「第 26 評議会の創造主よ、私達を助けてくださって本当にありがとうございます。

私達は、何もできなくて、ただ「愛で統一された宇宙」の創造主達に、私達を助けてくれるように、お願いするばかりでした。

私達は、「多彩な能力を持つ創造主」の力を打ち破るために、全ての創造主がひとつになって愛の力を彼に送ろうとしたのですが、「時間に関わる創造主達」に反対されて、私達の創造主はまとまる事ができませんでした。

これもやはり「多彩な能力を持つ創造主」によってあらかじめ仕組まれていたようです。」

「彼は全てを見通して、常に先手を打ってきます。

その度に私達の宇宙の創造主は、彼に翻弄され、そして彼の力によって利用されてしまうのです。」

と、第 26 評議会の創造主は残念そうに言いました。

「それで第 26 評議会の創造主よ、

あなたは「多彩な能力を持つ創造主」と話をしていたようですが、一体何を話されていたのですか。」

「TAKESHI さん、彼は自分自身が、宇宙の創造主の中で最も優秀であり素晴らしい創造主であるということを認めるように言ってきました。」

私は、第 26 評議会の創造主の言葉に耳を疑いました。

「それはとても馬鹿げた話ですね。

彼のように暴力的で狡猾な創造主が、第 26 評議会の創造主が作り上げた宇宙の創造主の中で最も優秀であるとは誰も思っていないのではないですか。」

「もちろん全ての創造主が、彼のことを尊敬しているわけではありません。

しかしながら彼の力に誰も逆らえないのは確かなのです。」

「それで、あなたはどうされたのですか。」と私は尋ねました。

「私は「多彩な能力を持つ創造主」が、この宇宙で一番優秀で力を持った創造主であるという事を認めました。

そしてそのように宣言しました。」

私は一瞬 言葉に詰まりました。

「第 26 評議会の創造主の力からすれば「多彩な能力を持つ創造主」を光に返す事など何も問題ではないはずで。

それなのに彼の要求を受け止め、彼の事をこの宇宙で一番優秀な創造主であると宣言した理由がわかりません。」

「確かに TAKESHI さんが、そのように思われるのも当然です。

誰も彼の事を一番優秀な創造主だなんて、本当は思っていないのです。

しかし、私がたとえ彼を光に返したところで、彼はすぐに様々な方法で復活してきます。

そして皆さんだけでなく皆さんの宇宙の創造主にも様々な攻撃を仕掛けてくるでしょう。

これ以上、皆さんや皆さんの宇宙に対して被害を広げる事はできないので、私は彼の事を一番素晴らしい創造主であると認める事にしました。」

その言葉に私は第 26 評議会の創造主の大きな苦悶を感じました。

本来であれば光に返してしまいたいところですが、たとえ彼を光に帰したところで、何度も復活してくるでしょう。

そして復活するたびに、今までよりも大きな被害が出ることは目に見えています。

次に彼が攻撃してきた時は、私達の命も奪われる可能性がある事を第 26 評議会の創造主は考えたのかもしれませんが。

第 26 評議会の創造主は、私達と私達の宇宙を守るために「多彩な能力を持つ創造主」に譲歩したようです。

これが昨夜、断片的に見えていた光景が表していたことなのでしょう。

「そうですね、それはとても残念なことです。」と私は言いました。

「しかしながら、私は「多彩な能力を持つ創造主」に、私達の宇宙は創造主を成長させるための場所なのでもうこの宇宙には関わらないように約束をさせました。

彼は自分の宇宙へと戻ってもう私達の宇宙には関わらないと思います。」

「多彩な能力を持つ創造主」が私達の前に現われてから、私達は今までにない苦しみを味わいました。

それもスピリチュアルな部分だけでなく、私達の体調の悪化や会社の経営の行き詰まりなど、その影響が現実世界にも大きく表れて、私達を大変困らせていたのです。

そして、彼は、私達だけでなく、全ての創造主とスターピープル達に対しても、今までにない混乱と苦痛を与えてきました。

第 26 評議会の創造主が「多彩な能力を持つ創造主」の事を、この宇宙で一番優秀な創造主であると認めたということは、私達にとって「多彩な能力を持つ創造主」に対する敗北を意味したのかもしれませんが。しかしながら敗北したからといって全てが終わったわけではなく、あえて敗北を認めることによって「多彩な能力を持つ創造主」が私達の宇宙から手を引けばそれは喜ばしいことなのです。そうでなければ、私達の宇宙はさらに壊滅的な打撃を受け、私達家族の命が奪われることも十分あり得る事なのです。

「第 26 評議会の創造主よ、あなたが行った事は、私達の宇宙の状況を見れば、正しい選択だったと、私も思います。

「多彩な能力を持つ創造主」が、これ以上、私達や私達の宇宙に攻撃を仕掛けてきたならば、私達も無事ではいられなかったでしょう。

彼の事ですから、一瞬にして、私達の宇宙を消す事さえもできたかもしれません。

彼は、私達の宇宙の創造主にはない狡猾さと残酷さを持っている創造主ですから、何が起きても不思議ではありません。」

「その通りです。

彼は、私達の宇宙以外にも様々な宇宙と関わっていますので、様々な闇の創造主によってさらに能力を高められていると思われます。」

PART5 新たな愛にあふれた創造主達

私と第 26 評議会の創造主の話は続きます。

「第 26 評議会の創造主よ、「多彩な能力を持つ創造主」がいなくなった今、もう一度私達の創造主を作り変えて、しっかりとした創造主を生み出していかなければならないようです。

それというのも、私達の宇宙の創造主の多くが「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子によって生み出されていますので、愛の創造主や守護の創造主以外の創造主達は、すぐに彼の意識に同調してしまい、彼の手先となって働いてしまいます。

パワーの創造主や時間に関わる創造主など、彼の影響を受けやすい創造主達を一旦光に帰して、創造主を新しく生み出したらいかがでしょうか。」と私は提案しました。

第 26 評議会の創造主も、私の言葉にうなずきながら答えました。

「私もその事を考えていました。

彼がもし戻ってきても、彼の意志が通用しない創造主しかいなければ、彼は今回のように自由に動き、私達に対して攻撃を仕掛けてくる事はできないのです。

もうすでに、この宇宙の創造主達は、「多彩な能力を持つ創造主」によって傷つけられ混乱していますので、このままでは、地球と皆さんの宇宙のアセンションもできなくなってしまいます。」

「それならば、私が先日呼びした「愛で統一された宇宙」の創造主の光をいただいて、その光を元に私達の宇宙の創造主を作ったらいかがでしょうか。

「多彩な能力を持つ創造主」の弱点は愛ですから、愛の光によって生み出された創造主には「多彩な能力を持つ創造主」はあまり手出しができなくなるのではないのでしょうか。」

「TAKESHI さん、そのことをよく見抜きましたね。

私達もそのように考えています。」

「もし皆さんの宇宙の創造主が「愛で統一された宇宙」の創造主の遺伝子と光を使って作られたならば、この宇宙の創造主は一気に愛の度数の高い創造主に生まれ変わる事になりますね。

そうなれば、今までよりもさらに素晴らしい宇宙が出来上がるのではないのでしょうか。」と私は言いました。

第 26 評議会の創造主は、私に向かってうなずくとこのように言いました。

「もちろんそうなると思います。

そして皆さんのアセンションも今までよりもさらに早く進むのではないのでしょうか。

それでは上位の創造主達と相談しながら、どのような形で新しい創造主達を生み出せばよいのか話し合いたいと思います。

また詳細が決まったら、TAKESHI さんにお話ししたいと思います。」

「それでは第 26 評議会の創造主よ、よろしくお願いします。

それで新しい創造主が出来上がるのはいつ頃でしょうか。」

「おそらく 2～3 日、お時間をいただければと思っています。」

私達は急に目の前が明るくなり、希望に満ち溢れたように見えました。

確かに「多彩な能力を持つ創造主」に、最後は大きなダメージを与えられましたが、「愛で統一された宇宙」の創造主のような素晴らしい創造主達が、私達の宇宙にもっと増えたならば、私達の宇宙は輝かしい宇宙になる事は間違いないでしょう。

私達もその間、生命力を奪われ、日常生活を送る事さえもできないほどの弱ってしまった体を休め修復していかなければなりません。

恵理さんは酷い喘息におそわれ苦しそうです。

私も咳がとまらず胸が詰まる感じがまだ残ります。

私達は、家族全員で鍼灸治療を受けて、体調の回復に努めることにしました。

「多彩な能力を持つ創造主」が私達の宇宙を去って 2 日ほどたちましたが、彼が残していった罫がまだ私達を苦しめました。

次女の結貴の本体である守護のシェンロン達を捕え、偽物と入れ替えていたことも分かりました。

そして、強力なブラックエンジェルやブラックフェアリー達を、私達の周りにたくさん送り込み、私達の子供達を困らせていました。

さらには、私達が住む世界と他の世界をつなぐパラレルワールドも起動し、私達はまた異なる世界へと放り込まれてしまいました。

幸い、第 26 評議会の創造主と「愛で統一された宇宙」の創造主達がすぐに気づき、助けに来てくれたので大きな問題にはならなかったのですが、ここしばらくは、「多彩な能力を持つ創造主」が行った事の後始末で追われそうです。

10 月 27 日の夕方、新しい創造主達はもう生まれたのかなと思い、新しい創造主を呼び出してみる事にしました。

恵理さんをお願いして、系列ごとの創造主では上位に位置する第 18 評議会の創造主を呼び出しました。

この第 18 評議会は 4 人の創造主がいます。

守護の創造主、愛の創造主、パワーの創造主、光と闇の創造主です。

最初にパワーの創造主を呼び出しました。

パワーの創造主は、創造主の系列の中でも「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子を多く引き継いでいる創造主の系列です。

新しく生まれ変わった創造主は、以前の創造主と違って、とても優しい雰囲気を持っており、さらに叡智に満ち溢れた創造主のように見えます。

私の創造主の系列である光と闇の創造主も、以前に比べると、エネルギーがとても明るく軽やかになっています。

今までは、闇の重たさを全身にまとっていたのですが、今はそのような雰囲気がなく、まるで大天使ミカエルのような軽やかさです。

しかしながら、今までの光と闇の創造主よりもさらに深い闇をコントロールすることができるようです。

私は、愛の創造主にも何か変化があったのか、聞いてみました。

愛の創造主は、もともと「多彩な能力を持つ創造主」の遺伝子から作られた創造主ではないので、今回作り変えを行っていません。

「私達、愛の創造主の系列は、もともと「愛で統一された宇宙」の創造主達の遺伝子と光を受け継いでいます。

しかしながら今までは、その光はまだ十分ではありませんでしたので、この宇宙の闇の力には到底対抗する事ができなかったのです。

そして、皆さんたちが地球に降り立って生きていた時も、創造主だから地上の人達の憎しみや怒り、悲しみを自分の身で引き受けなければならないと信じていました。

そのために、愛の創造主のスピリットを持つ恵理さんは、多くの人の怒りや悲しみ、憎しみなどを、その身で受け取り、傷ついてきました。

私達は、「愛で統一された宇宙」の創造主から、自分達の愛を強化してもらった事で大きく考え方が変わりました。

私達は、私達自身も愛していますので、地球に降りた愛の創造主達が、どのような理由であれ、傷つけられる事を認めません。

地球に生きる人と同じように、地上に降りた創造主を愛し大切にしたいと思います。」

恵理さんはその言葉を聞いてとても喜んでいました。

私につながる光と闇の創造主も愛の創造主の言葉に同意しているようです。

「私達、光と闇の創造主も同じ考えです。

今までの光と闇の創造主は TAKESHI さんたちを大変危険な目にあわせてきました。
それは、自分達の中に、闇の力を抑え込む光のエネルギーが十分ではなかったからです。
しかし、私達は「愛で統一された宇宙」の創造主の光をたくさん得て生まれ変わりました。
私達は、闇よりも光が格段多い創造主になったのです。
私達は、今まで創造主として地上に降り立った者は、多くの苦勞を乗り越えていかなければならないと思い、皆さんに降りかかる様々な障害をあえて受け止めようと思い、皆さんが傷つくことを容認してきました。
これは、私達の意志というよりも、地球や私達の宇宙に根付いていた闇の創造主達の考え方であると分かりました。
これからは、皆さんが傷つくことがないようにしっかりと守護していきたいと思います。」

光と闇の創造主も愛の創造主も、大分考え方が変わったようです。
そしてそれは、すべての創造主達に言えることです。
今まで、地球と私達の宇宙は深い闇を持った創造主達に支配されてきましたが、そのような創造主を支配して、私達の宇宙をコントロールしていた「多彩な能力を持つ創造主」は、私達の宇宙を去りました。
これからは、「愛で統一された宇宙」の創造主とその創造主の光と遺伝子によって作られた創造主達が、私達の宇宙を統治することになります。

これから、遅れていた地球のアセンションが、急ピッチで進められていく事となります。
そして、地球の深い闇のエネルギーもどんどん軽くなり、光の度合いが高くなっていく事と思われます。
そうすると、光 30%台の世界、光 40%台の世界も光が高まり、その世界にいる人達の精神的進化も、今までよりも早くなることでしょう。

PART6 スターピープルが現実世界の地球人に関わるためのルール

12 月にはいると、「神聖なる宇宙の光」のアチューメントを通して、スターピープル達による地球の人々へのサポートがさらに強くなってきました。
人々の感情の問題、特に自分に対する愛や信頼の問題などを解決したり、地球人の傷つけられている遺伝子の修復が始まりました。

しかしながら、「神聖なる宇宙の光」のアチューメントによって人々をアセンションさせる事を嫌うダークピープル達の妨害も激しくなりました。
特に地球人を現実世界で支配する「紫ピラミッド」の 1 グループであるオリオン人達によるサイキックアタックは私達を困らせました。

私が、アチューメントを受ける人に大切なメッセージを伝えようとする時、私の首が締め付けられるような感触がして声が出なくなるのです。
現実世界を支配する「紫ピラミッド」は、私達によって大きな打撃を与えられたために、私達に対する復讐の手を緩めようとしません。
創造主が新しい創造主に生まれ変わったとしても、現実世界の事ですから、そのことを防御することも解決することも出来ないのです。

そこで、私達は最後まで変更しなかったルールを見直すことにしました。

それは「創造主やその星に住む人以外の存在は、その星に住む人々と物理世界で関わってはいけない。」というルールです。

このルールは地球が生まれる前から存在し、私達の宇宙共通のルールです。

このために創造主やスターピープルは、ファーストコンタクトを終えるまでは、地球人と物理世界で直接かわり合うことが出来ないのです。

しかし、闇の創造主やダークピープル達はこのルールを平気で破り、地球人を現実世界でコントロールして利用しています。

そして大変な被害を地球人と地球にもたらしているのですが、光の創造主とスターピープルはこのルールが
るために、闇の創造主やダークピープルが地球人に対して行う事を未然に防ぐことも、その被害を修復することも出来ないのです。

このルールがあるおかげで、私達は常にダークピープル達のサイキックアタックを受け続けなければなりませんし、スターピープル達も大天使達もそれをしっかりと防ぐことが出来ないのです。

これでは、これからアセンションしていく人達をダークピープル達から守ることができませんし、その人達を現実世界で力強く導くこともできません。

私は第 26 評議会の創造主と相談してこのルールに変更を加えることにしました。

「第 26 評議会の創造主よ、このままでは、このルールによってダークピープル達が一方的に地球の人々に被害を与え、アセンションしていく人達の妨害をする事を止めることができません。

闇の創造主やダークピープル達が地球の人々に害を与えそうな時、また被害を与えてしまった時は、光の創造主やスターピープル達、大天使達も現実世界に関わり、その被害を未然に防いだり、修復することができるというルールを付け加えたらどうでしょうか。

そうしなければ、光の創造主やスターピープル達は、十分に地球人を守護できません。」

第 26 評議会の創造主も、私の意見にうなずきます。

「私達も、もうそろそろ、このルールに変更を加えなければならないと思っていたところです。

TAKESHI さんの言うように、ルール変更を認めましょう。」

この言葉に喜んでるのは、物理世界に関わる第 1 評議会、第 2 評議会のスターピープルや大天使達です。今迄、このルールに妨げられて、地球人を守護したり導いたりする活動が十分に出来なかったからです。エレナさん達が喜んで出てきてくれました。

「TAKESHI さん、ありがとうございます。

これで私達も、ダークピープル達に負けないように働くことが出来ます。

このルールのおかげで、私達はいつも大事なところで手が出せなくて悔しい思いをしていました。

これからは、TAKESHI さん達はもちろん地球の人達をもっと力強く守護していけます。

そして 1 人 1 人に対する個別のファーストコンタクトもずっとやりやすくなりました。」

ホーリーエレメント達もこのルールの変更のおかげで、地球人全体に対する浄化や遺伝子の修復などもやりやすくなったようです。

「TAKESHI さん、私達もこのルール変更によって、皆さんの遺伝子の修復や活性化をもっとしっかりと行う事が出来るようになりました。

そして TAKESHI さんやアチューメントを受ける人達を通してもっと多くの人に関わることができるようになります。」

このルール変更によって、スターピープル達が今まで以上に地球人に関われる事になりましたので、きっとこれからアセンションが一気に加速して進むことになるでしょう。

そして皆さん一人一人が、スターピープル達の指導や守護を受けて、自分達の精神性を高め、愛を目覚めさせることももっとできるようになります。

今年もあと1ヶ月で終わります。

私たちが目指す光が多い世界も、今までよりもさらに早く私達のもとに訪れてくることでしょう。

2019年の末には、物理世界の完全分離も予定されています。

そして2020年には、とても大きな変化が、私達の前に現れることになります。

その時は、もう決して遠くないのです。